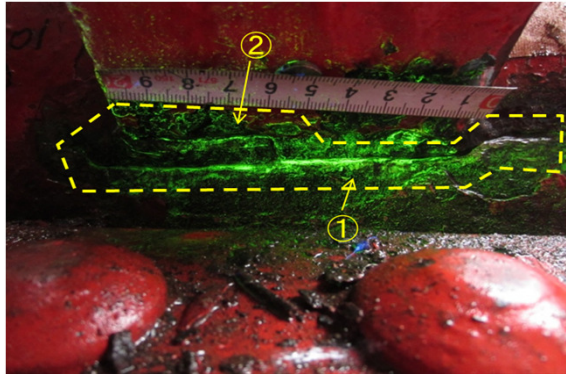
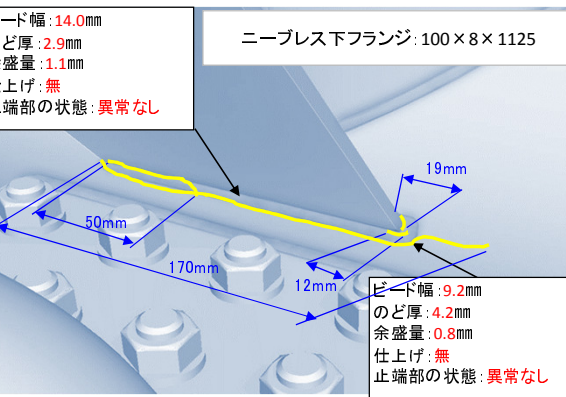
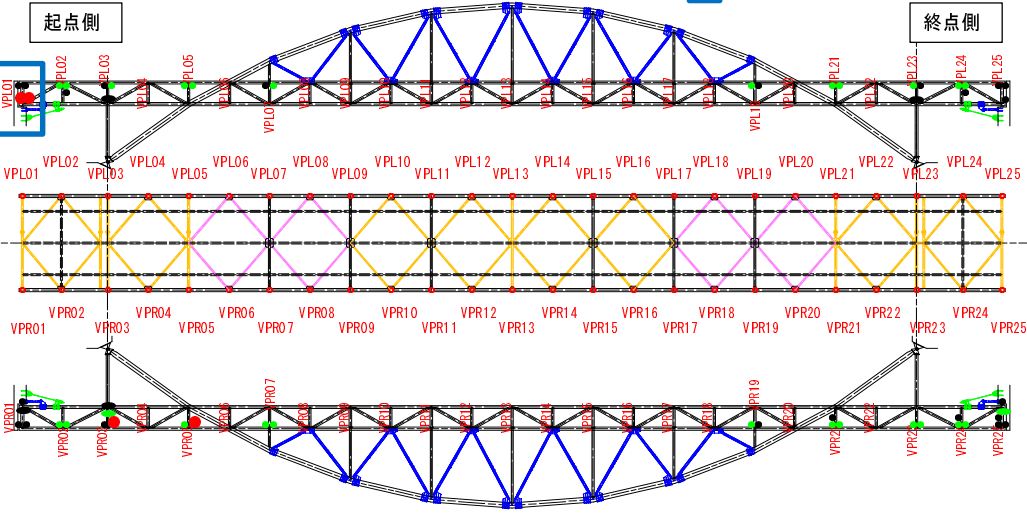
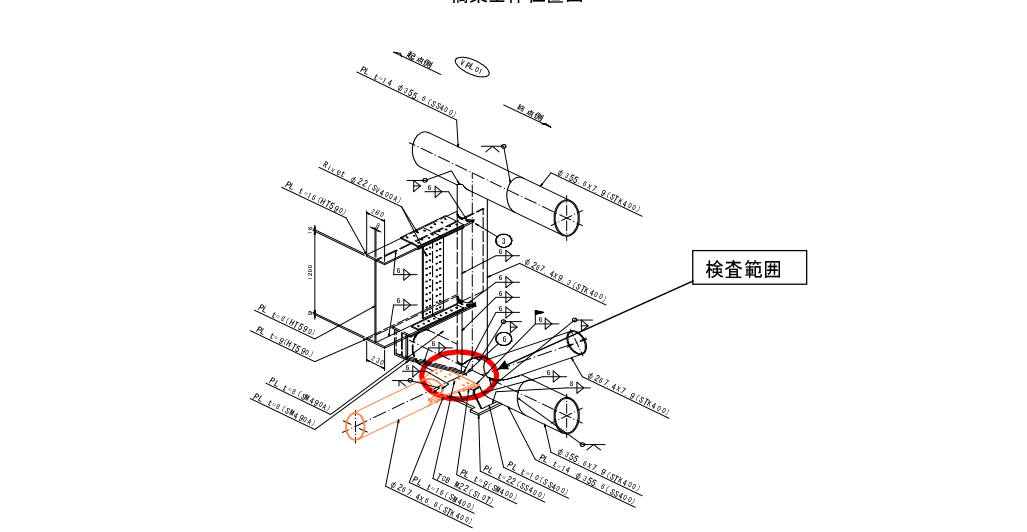
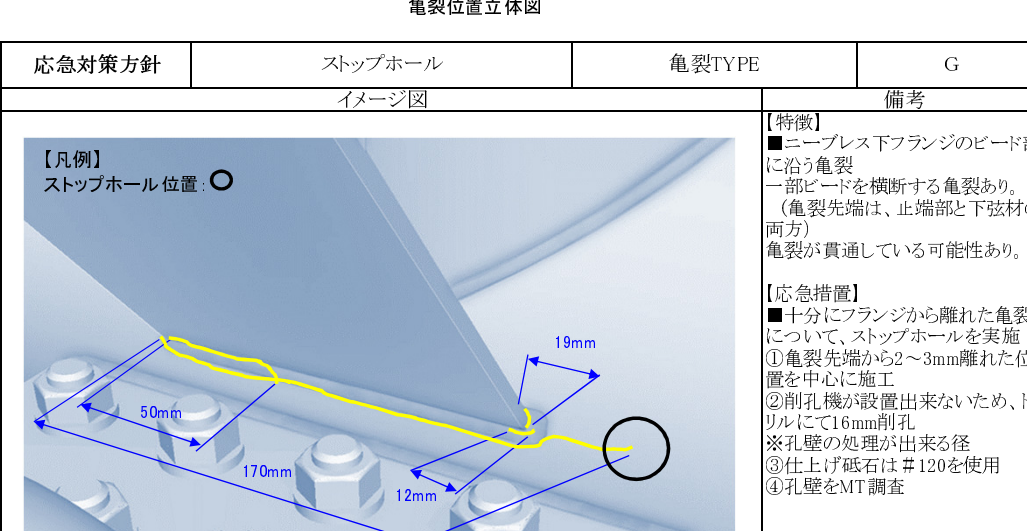
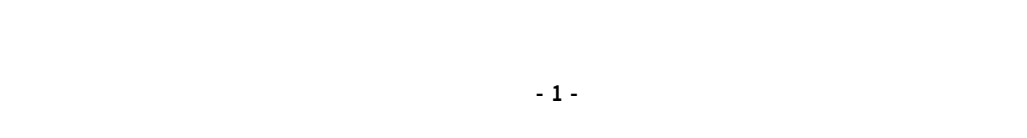
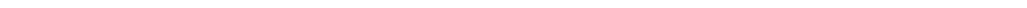
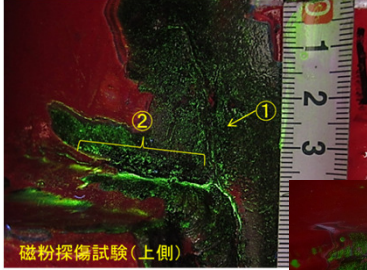
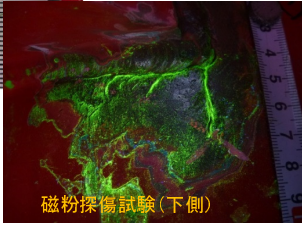
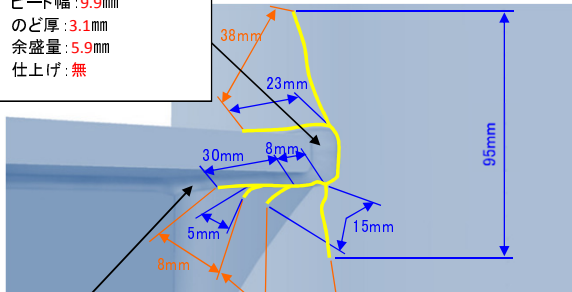


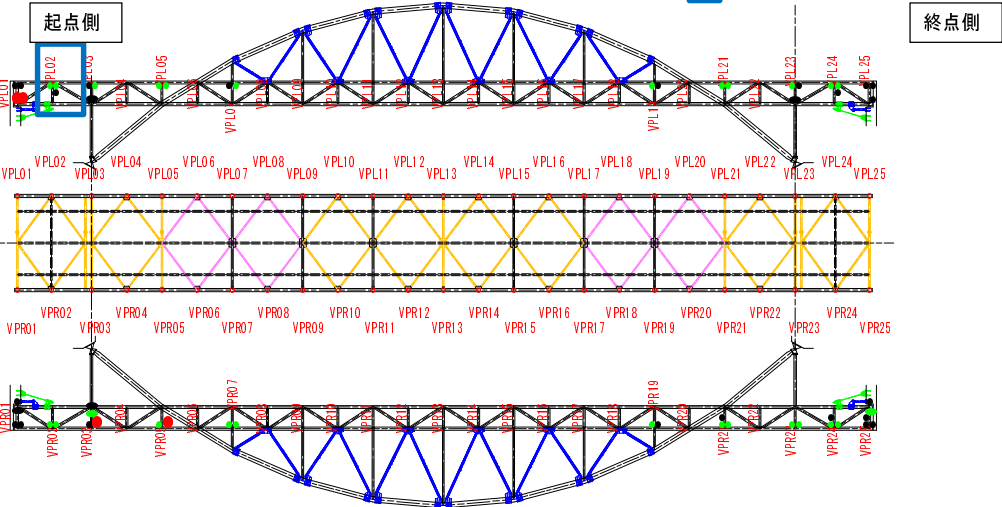
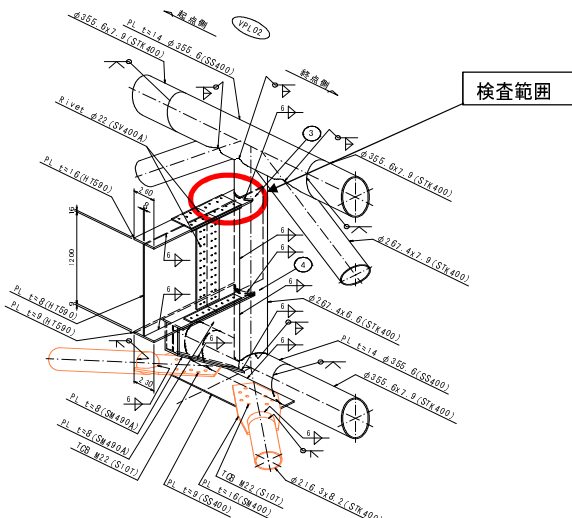
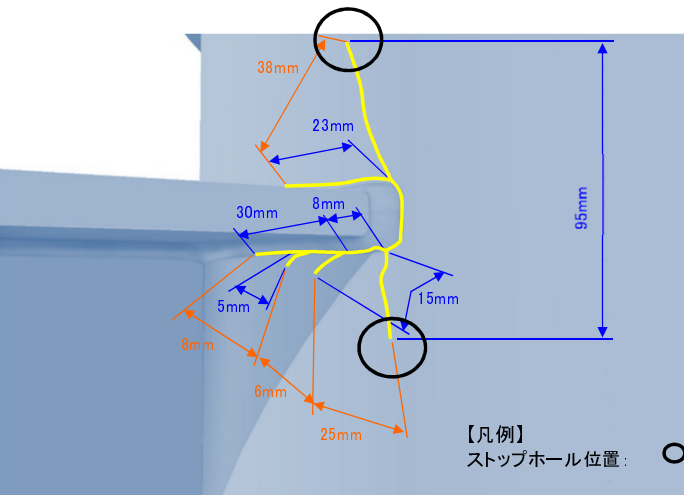
ストップホール状況（個表）

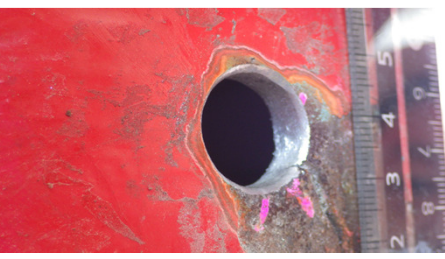
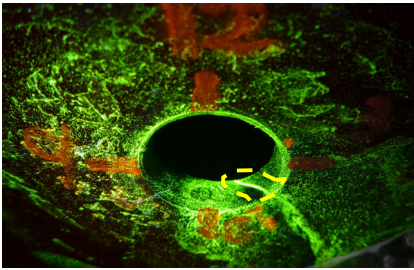
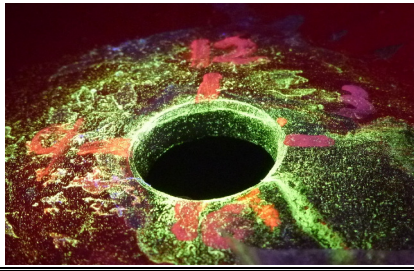
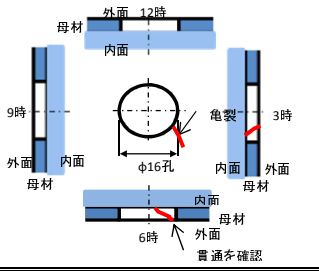
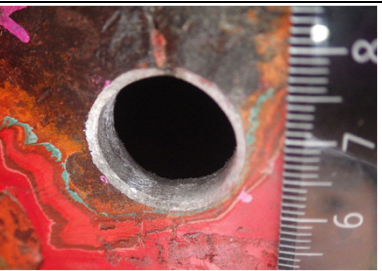
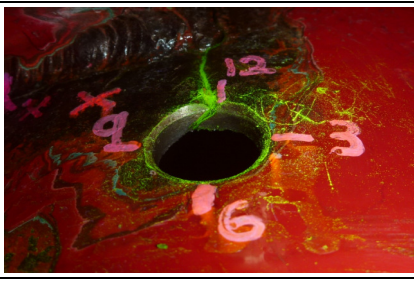
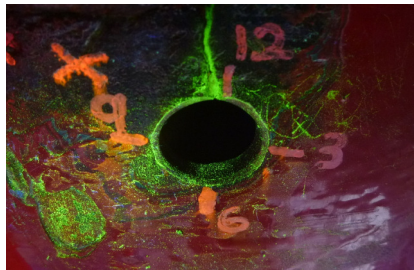
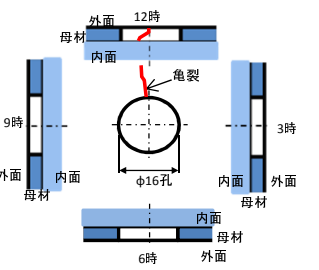
- ①VPL シリーズ-----P1
- ②VPR シリーズ-----P8
- ③Bh0506(支承リブ)-----P16

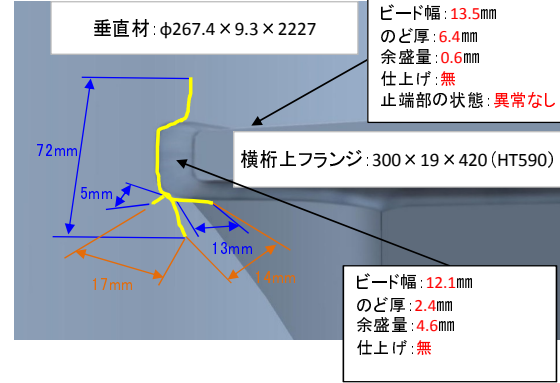
亀裂調査結果					
橋梁名	伊達橋	VPL	01	点検位置	⑥
		磁粉探傷検査 (塗膜除去)			
		検査範囲: ビード止端部から20mm			
		溶接仕上げ状況			
		ビード仕上げ無し			
		磁粉探傷検査 (亀裂指示模様)			
		①:l=170mm ②:l=50mm ※未切削			
		MT結果			
		亀裂の有無 あり ○ なし ---			
		磁粉探傷検査 (スケッチ)			
		特記事項			
		亀裂延長:220mm (170+50)			
		検査力所の養生			
		※応急対策後(ストップホール)に防錆処理を行う。			

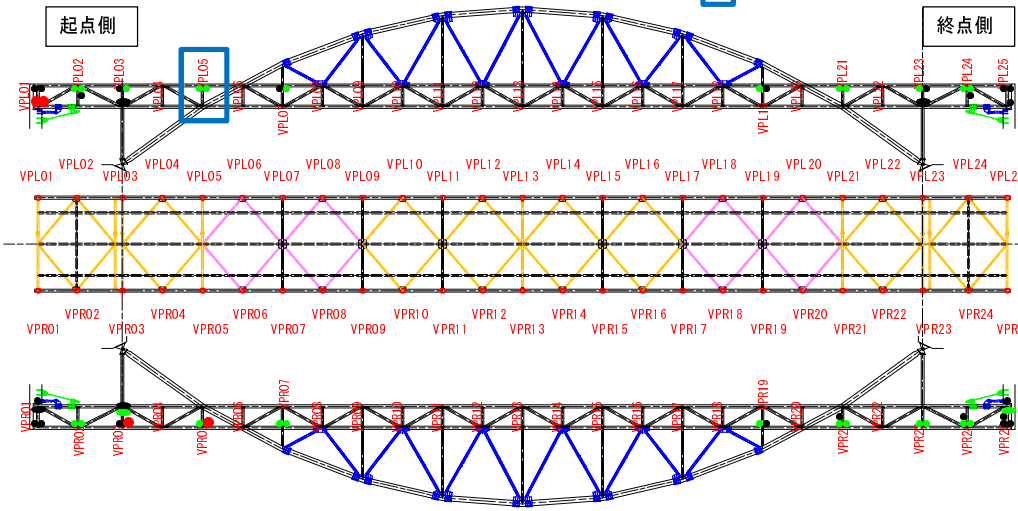
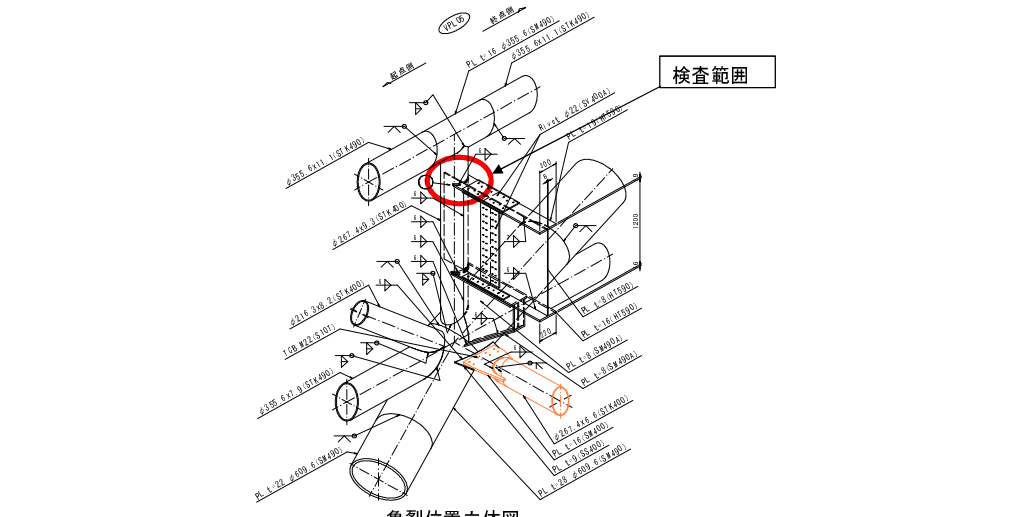
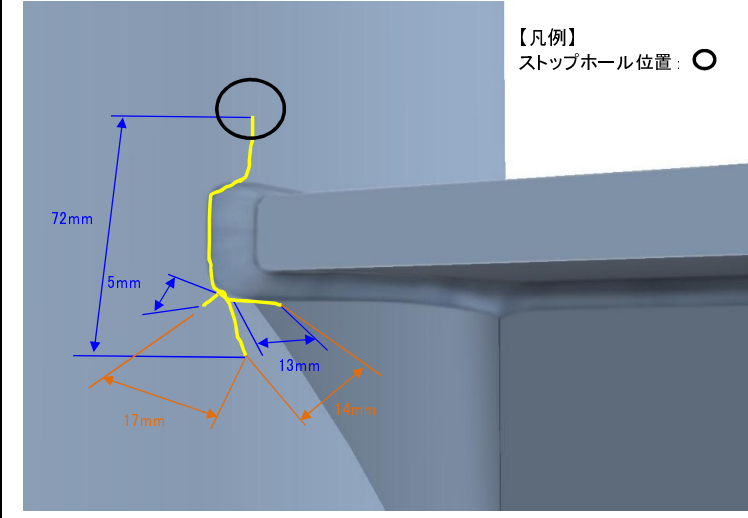
伊達橋 応急対策(ストップホール) VPL01-⑥			
亀裂位置情報			
□ は、亀裂位置を示す。			
			
橋梁全体位置図			
			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			

亀裂調査結果				
橋梁名	伊達橋	VPL	02	点検位置
③				
				
磁粉探傷検査 (塗膜除去)				
検査範囲: ビード止端部から20mm				
溶接仕上げ状況				
ビード仕上げ無し				
 				
磁粉探傷検査 (亀裂指示模様)				
①: l=95mm ②: l=23mm				
※未切削				
MT結果				
亀裂の有無				
あり ○				
なし ---				
ビード幅:9.9mm のど厚:3.1mm 余盛量:5.9mm 仕上げ:無  ビード幅:10.6mm のど厚:4.9mm 余盛量:1.6mm 仕上げ:無 垂直材:φ267.4×6.6×2227(STK400)				
磁粉探傷検査 (スケッチ)				
特記事項				
寸法凡例 —: 亀裂延長				
亀裂延長:118mm (95+23)				
横桁上フランジ: 260×16×420 (HT590)				
 写真内○数字は、亀裂間隔を示す。				
検査力所の養生				
※応急対策後(ストップホール)に防錆処理を行う。				

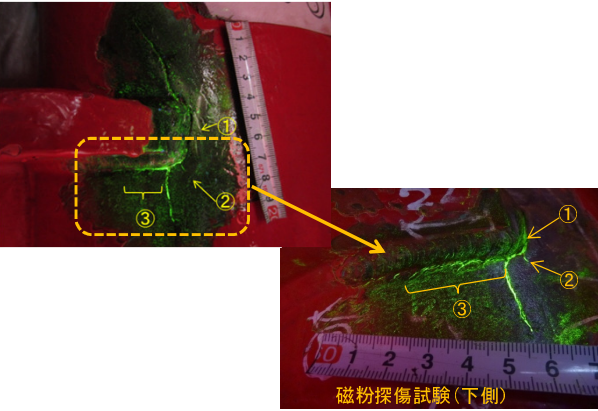
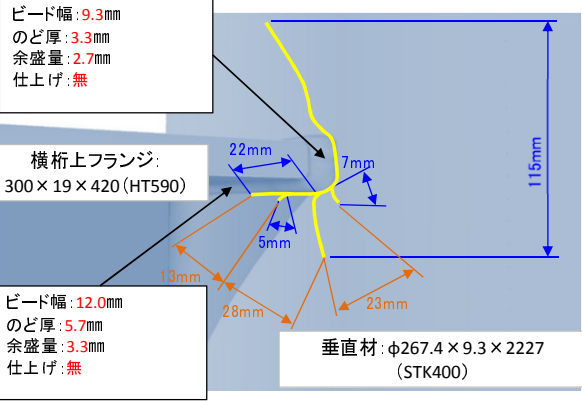
伊達橋 応急対策(ストップホール) VPL02-③			
亀裂位置情報			
□ は、亀裂位置を示す。			
起点側  終点側			
橋梁全体位置図			
			
亀裂位置立体図			
応急対策方針	ストップホール	亀裂TYPE	E
イメージ図		備考	
 【凡例】 ストップホール位置: ○		【特徴】 ■上フランジの下面(又は上面)及びコバ面の、垂直材側の止端部に沿う亀裂かつ、垂直母材に進行した亀裂(亀裂先端は、止端部と垂直材の両方)	
		【応急措置】 ■十分にフランジから離れた亀裂について、ストップホールを実施 ①亀裂先端から2～3mm離れた位置を中心に施工 ②削孔機が設置出来ないため、ドリルにて16mm削孔 ※孔壁の処理が出来る径 ③仕上げ砥石は #120を使用 ④孔壁をMT調査	

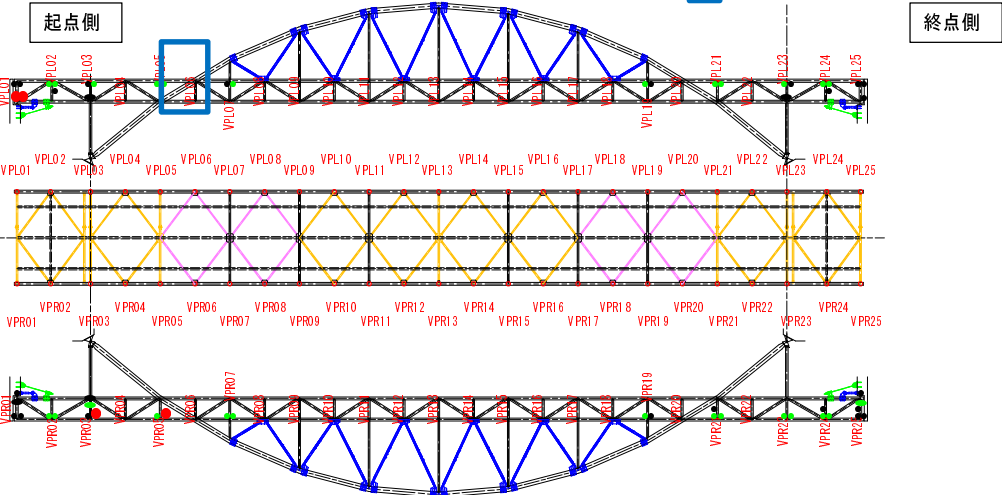
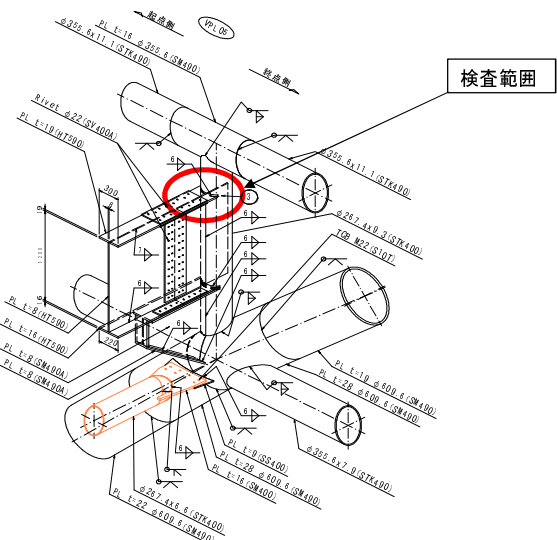
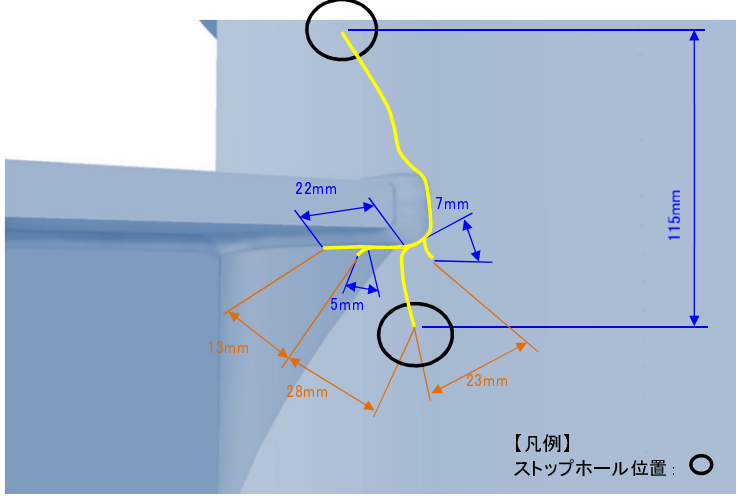
応急対策状況		
上側	横桁上フランジ上のストップホール(近景) φ16孔	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂状況:6時方向)
		
	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂なし:12時方向)	磁粉探傷検査状況 (亀裂状況説明図)
		
下側	横桁上フランジ下のストップホール(近景) φ16孔	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂状況:12時方向)
		
	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂なし:6時方向)	磁粉探傷検査状況 (亀裂状況説明図)
		
全景		
		

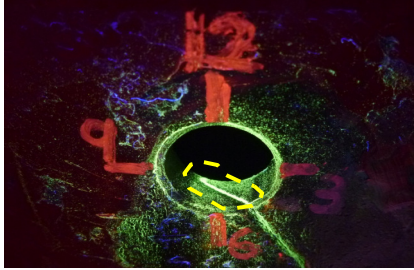
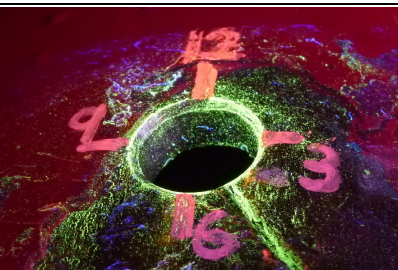
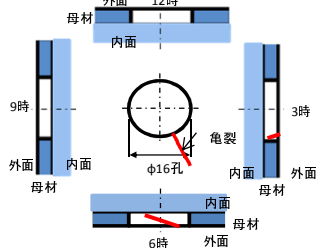
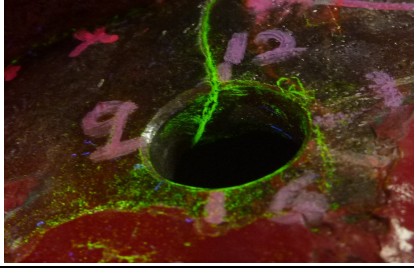
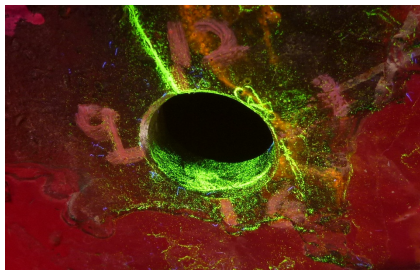
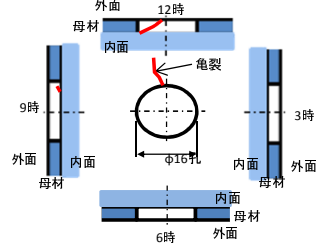
亀裂調査結果				
橋梁名	伊達橋	VPL	05	点検位置
①				
磁粉探傷検査 (塗膜除去) 検査範囲: ビード止端部から20mm				
				
溶接仕上げ状況				
ビード仕上げ無し				
磁粉探傷検査 (亀裂指示模様)				
①:l=72mm ②:l=5mm ③:l=13mm				
※未切削				
MT結果				
亀裂の有無				
あり ○				
なし ---				
磁粉探傷検査 (スケッチ)				
特記事項				
寸法凡例 —: 亀裂延長 —: 離隔距離				
亀裂延長:90mm (72+5+13)				
検査力所の養生				
※応急対策後(ストップホール)に防錆処理を行う。				
				
				

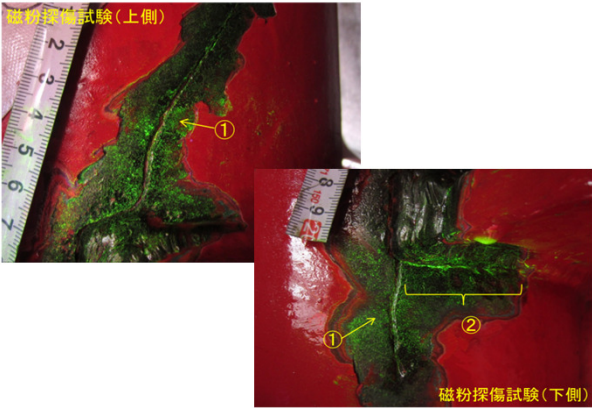
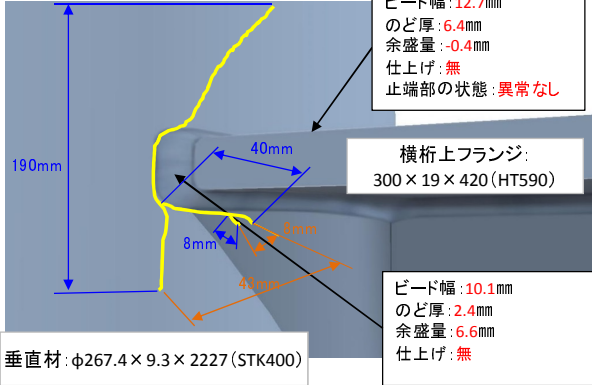
伊達橋 応急対策(ストップホール) VPL05-①			
亀裂位置情報			
□ は、亀裂位置を示す。			
			
橋梁全体位置図			
			
亀裂位置立体図			
応急対策方針			
ストップホール			
亀裂TYPE			
E			
イメージ図			
			
備考			
【特徴】 ■上フランジの下面(又は上面)及びコバ面の、垂直材側の止端部に沿う亀裂かつ、垂直母材に進行した亀裂(亀裂先端は、止端部と垂直材の両方)			
【応急措置】 ■十分にフランジから離れた亀裂について、ストップホールを実施 ①亀裂先端から2~3mm離れた位置を中心に施工 ②削孔機が設置出来ないため、ドリルにて16mm削孔 ※孔壁の処理が出来る径 ③仕上げ砥石は #120を使用 ④孔壁をMT調査			

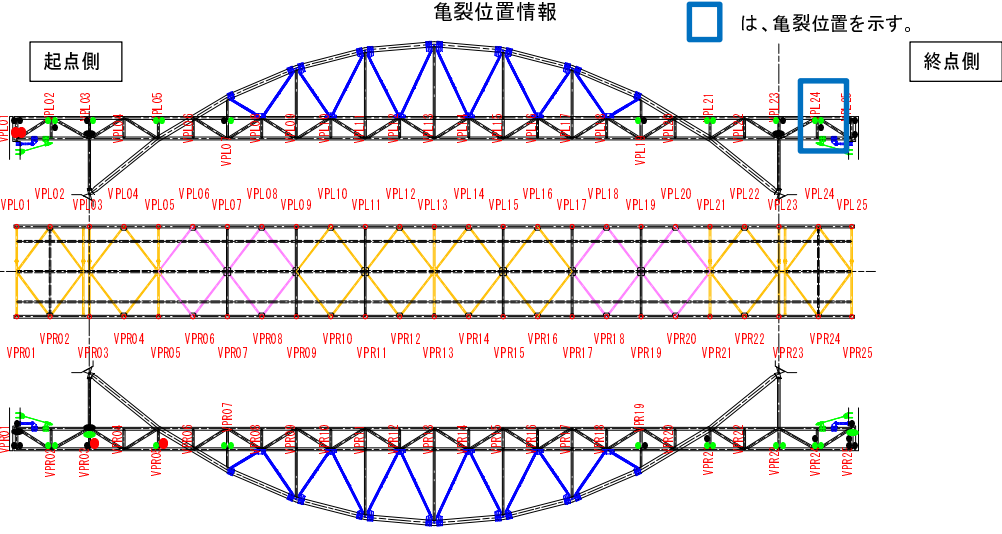
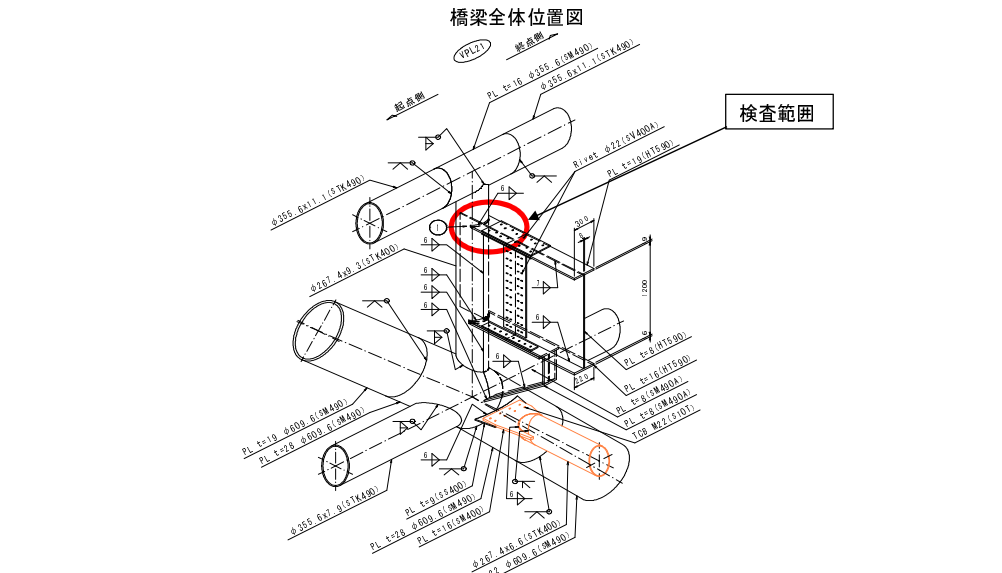
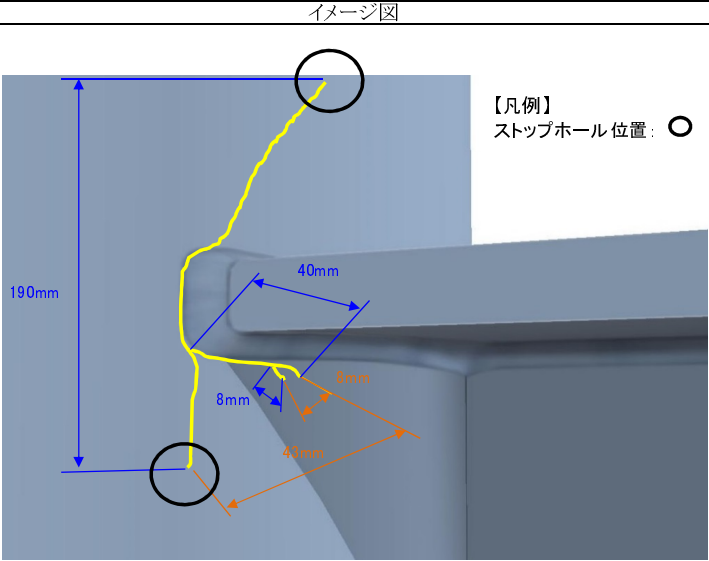
応急対策状況	
上側	横桁上フランジ下のストップホール(近景) φ16孔
	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂状況:6時方向)
	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂なし:12時方向)
	磁粉探傷検査状況 (亀裂状況説明図)
下側	
全景	
	

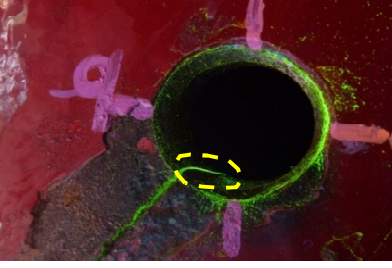
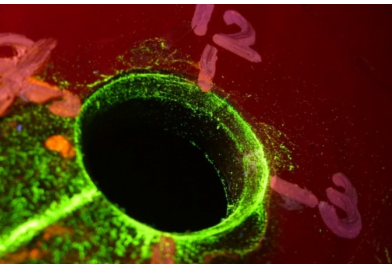
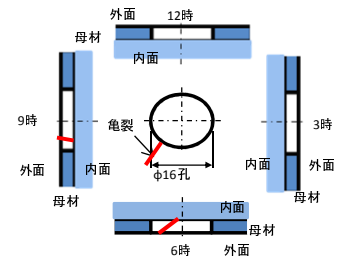
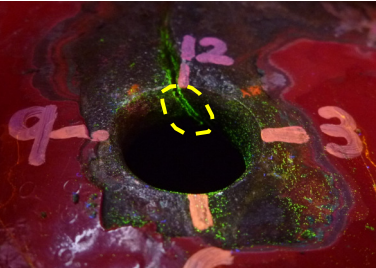
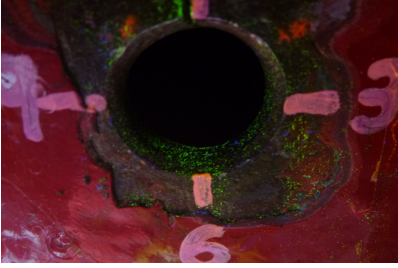
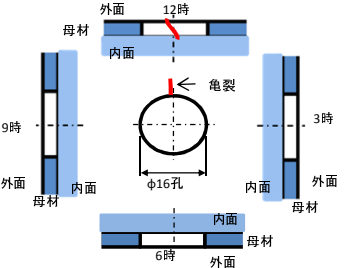
亀裂調査結果				
橋梁名	伊達橋	VPL	05	点検位置
③				
				
磁粉探傷検査 (塗膜除去) 検査範囲: ビード止端部から20mm				
溶接仕上げ状況				
ビード仕上げ無し				
				
磁粉探傷検査 (亀裂指示模様) ①:l=115mm ②:l=7mm ③:l=22、5mm ※未切削 MT結果 亀裂の有無 あり ○ なし ---				
				
磁粉探傷検査 (スケッチ) 特記事項 寸法凡例 — : 亀裂延長 - - : 離隔距離 亀裂延長:149mm (115+7+22+5)				
 写真内○数字は、亀裂間隔を示す。				
検査力所の養生 ※応急対策後(ストップホール)に防錆処理を行う。				

伊達橋 応急対策(ストップホール) VPL05-③			
亀裂位置情報 □ は、亀裂位置を示す。			
			
橋梁全体位置図			
			
亀裂位置立体図			
応急対策方針	ストップホール	亀裂TYPE	E
イメージ図		備考	
		【特徴】 ■上フランジの下面(又は上面)及びコバ面の、垂直材側の止端部に沿う亀裂 かつ、垂直母材に進行した亀裂 (亀裂先端は、止端部と垂直材の両方) 【応急措置】 ■十分にフランジから離れた亀裂について、ストップホールを実施 ①亀裂先端から2~3mm離れた位置を中心に施工 ②削孔機が設置出来ないため、ドリルにて16mm削孔 ※孔壁の処理が出来る径 ③仕上げ砥石は #120を使用 ④孔壁をMT調査	

応急対策状況		
上側	横桁上フランジ上のストップホール(近景) φ16孔	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂状況:6時方向)
		
	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂なし:12時方向)	磁粉探傷検査状況 (亀裂状況説明図)
		
下側	横桁上フランジ下のストップホール(近景) φ16孔	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂状況:12時方向)
		
	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂なし:6時方向)	磁粉探傷検査状況 (亀裂状況説明図)
		
全景		
		

亀裂調査結果					
橋梁名	伊達橋	VPL	21	点検位置	①
					磁粉探傷検査 (塗膜除去) 検査範囲: ビード止端部から20mm
					溶接仕上げ状況
					ビード仕上げ無し
					磁粉探傷検査 (亀裂指示模様) ①:l=190mm ※未切削
					MT結果 亀裂の有無 あり ○ なし ---
					磁粉探傷検査 (スケッチ) 特記事項 寸法凡例 —: 亀裂延長 - -: 離隔距離 亀裂延長:190mm
					検査力所の養生 ※応急対策後(ストップホール)に防錆処理を行う。

伊達橋 応急対策(ストップホール) VPL21-①			
			
			
応急対策方針	ストップホール	亀裂TYPE	E
		備考 【特徴】 ■上フランジの下面(又は上面)及びコバ面の、垂直材側の止端部に沿う亀裂かつ、垂直母材に進行した亀裂(亀裂先端は、止端部と垂直材の両方) 【応急措置】 ■十分にフランジから離れた亀裂について、ストップホールを実施 ①亀裂先端から2~3mm離れた位置を中心に施工 ②削孔機が設置出来ないため、ドリルにて16mm削孔 ※孔壁の処理が出来る径 ③仕上げ砥石は #120を使用 ④孔壁をMT調査	

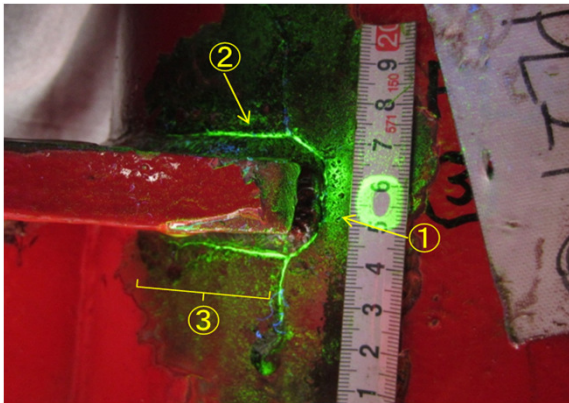
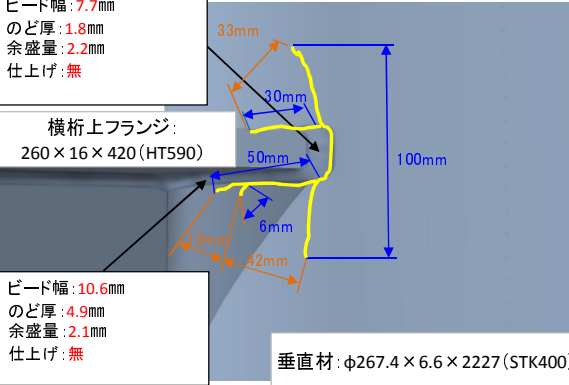
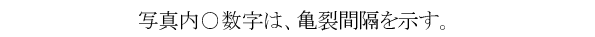
応急対策状況		
上側	横桁上フランジ上のストップホール(近景) φ16孔	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂状況:9時方向)
		
	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂なし:12時方向)	磁粉探傷検査状況 (亀裂状況説明図)
		
下側	横桁上フランジ下のストップホール(近景) φ16孔	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂状況:12時方向)
		
	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂なし:6時方向)	磁粉探傷検査状況 (亀裂状況説明図)
		
全景		
		

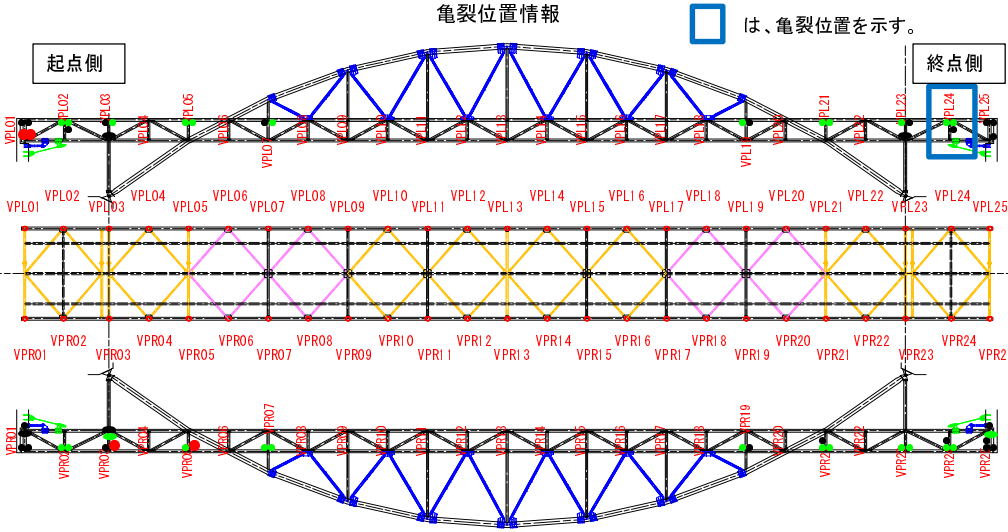
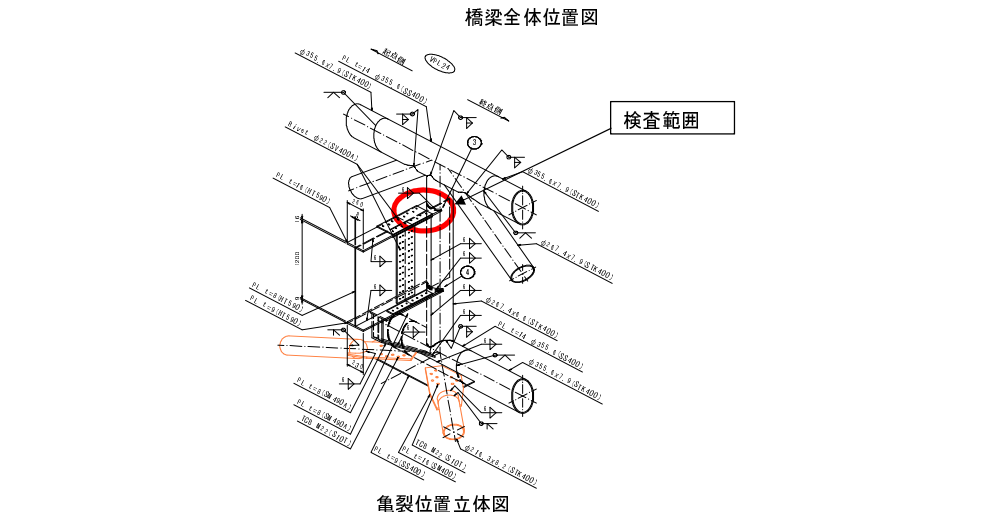
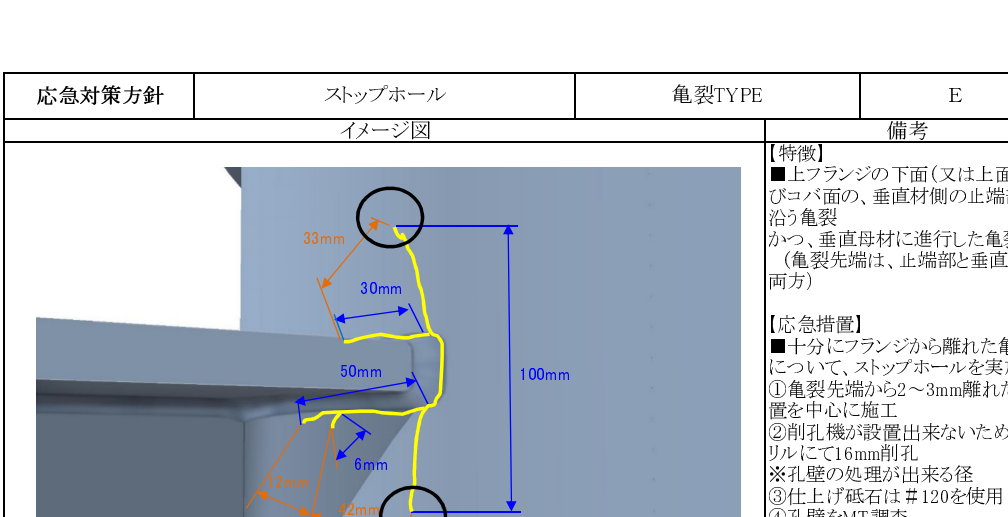
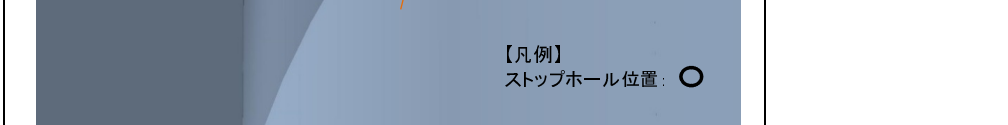
亀裂調査結果						
橋梁名	伊達橋	VPL	24	点検位置	①	
					磁粉探傷検査 (塗膜除去) 検査範囲: ビード止端部から20mm	
					溶接仕上げ状況	
					ビード仕上げ無し	
					磁粉探傷検査 (亀裂指示模様) ①:l=100mm ②:l=30mm ※未切削	
					MT結果	
					<table border="1"> <tr> <td>亀裂の有無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>あり</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>---</td> </tr> </table>	亀裂の有無
亀裂の有無						
あり	○					
なし	---					
					磁粉探傷検査 (スケッチ) 特記事項 寸法凡例 ー: 亀裂延長 ー: 離隔距離	
					亀裂延長:130mm (100+30)	
					検査カ所の養生 ※応急対策後(ストップホール)に防錆処理を行う。	
					写真内○数字は、亀裂間隔を示す。	

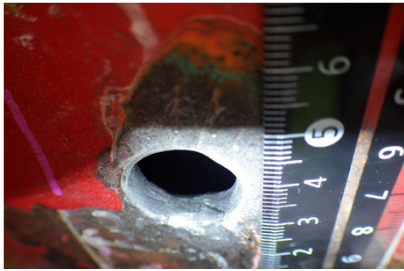
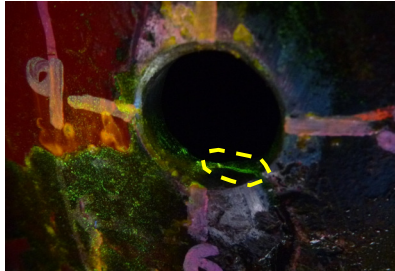
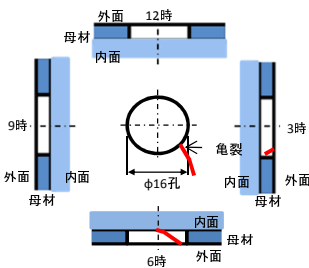
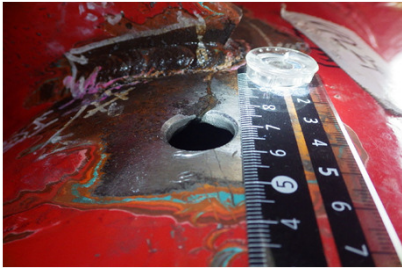
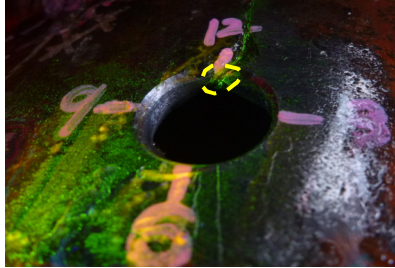
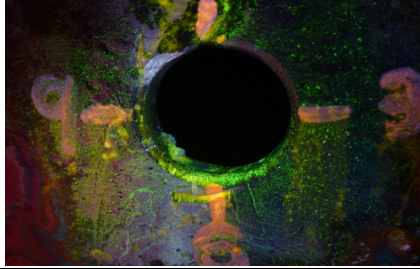
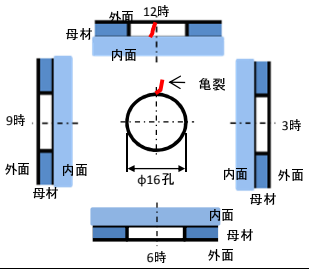
Figure 1: Bridge crack location information. The top part shows a plan view of the bridge deck with cracks labeled VPL01 to VPL25 and VPR01 to VPR25. The bottom part shows a cross-section of the bridge deck with a red circle indicating the inspection range.

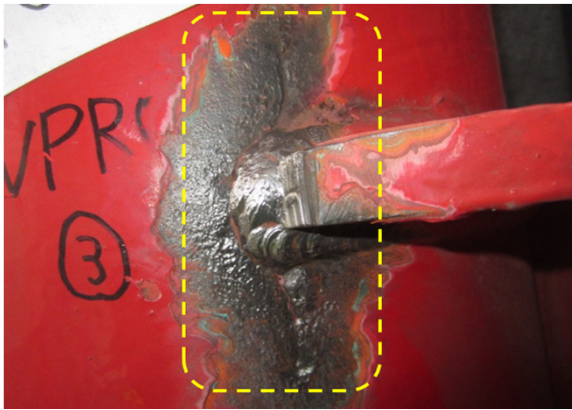
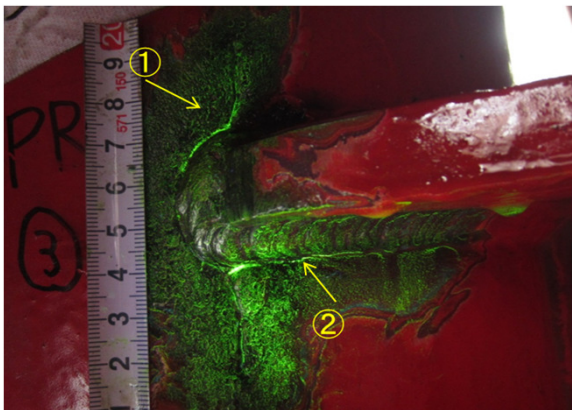
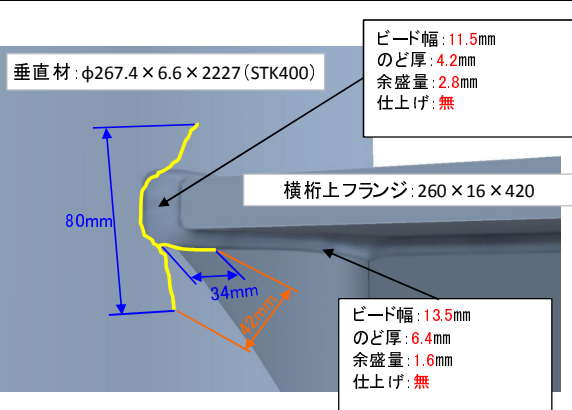
応急対策方針	ストップホール	亀裂TYPE	E
イメージ図			備考
【凡例】 ストップホール位置：○			【特徴】 ■上フランジの下面(又は上面)及びコンパ面の、垂直材側の止端部に沿う亀裂 かつ、垂直母材に進行した亀裂 (亀裂先端は、止端部と垂直材の両方) 【応急措置】 ■十分にフランジから離れた亀裂について、ストップホールを実施 ①亀裂先端から2～3mm離れた位置を中心に施工 ②削孔機が設置出来ないため、ドリルにて16mm削孔 ※孔壁の処理出来る径 ③仕上げ砥石は#120を使用 ④孔壁をMT調査

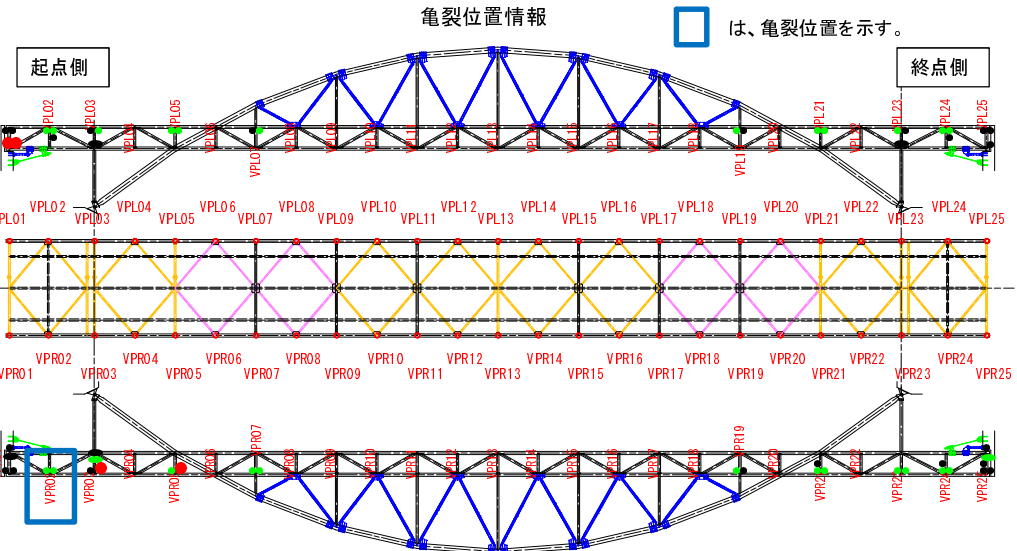
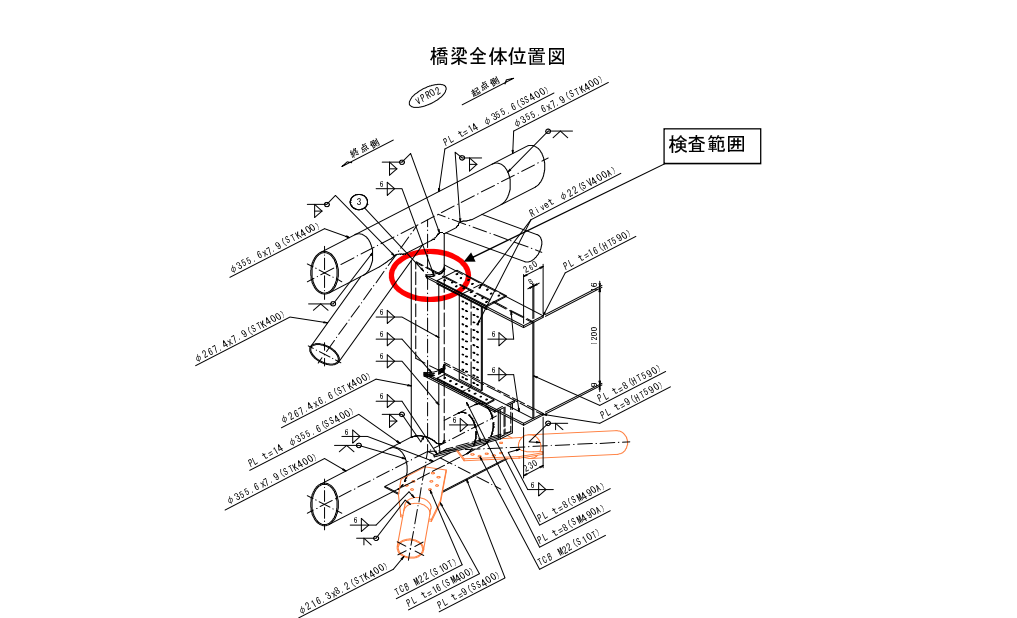
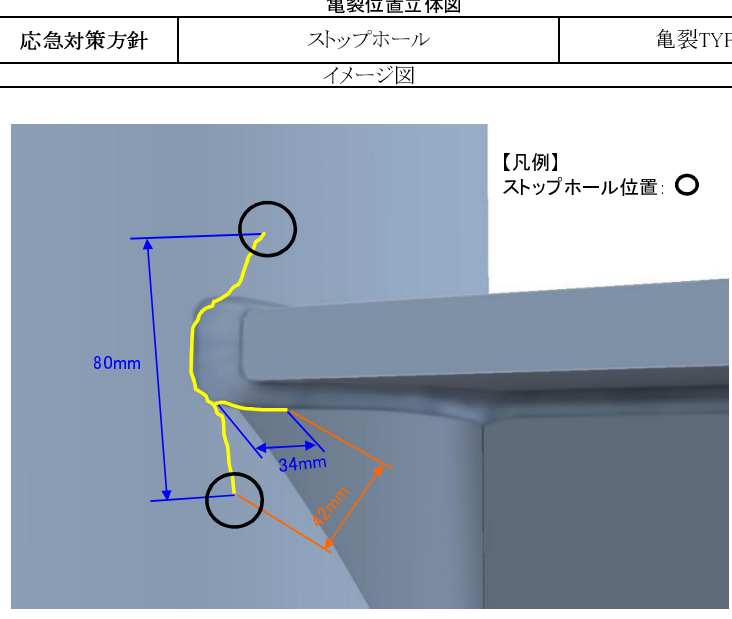
応急対策状況		
上側	横桁上フランジ上のストップホール(近景) φ 16孔	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂状況:6時方向)
	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂なし:12時方向)	磁粉探傷検査状況 (亀裂状況説明図)
下側	横桁上フランジ下のストップホール(近景) φ 16孔	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂状況:12時方向)
	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂状況:6時方向)	磁粉探傷検査状況 (亀裂状況説明図)
全景		

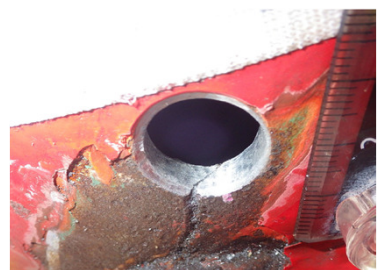
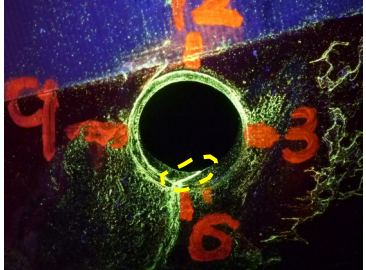
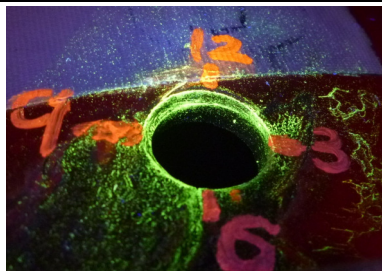
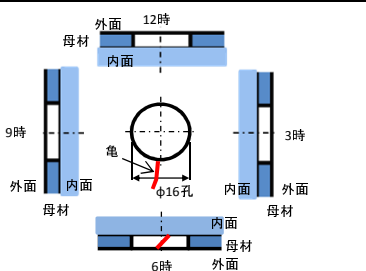
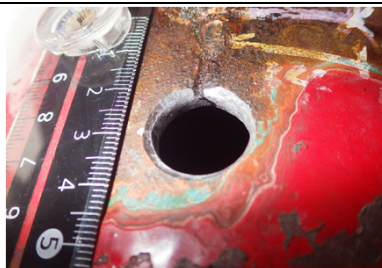
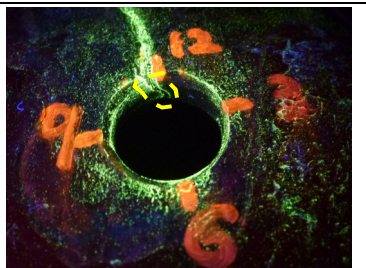
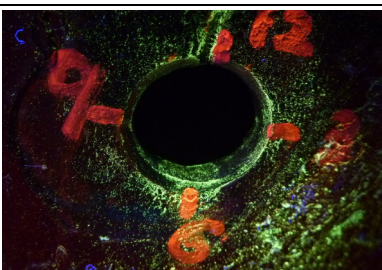
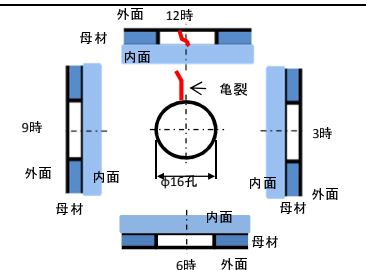
亀裂調査結果					
橋梁名	伊達橋	VPL	24	点検位置	③
		磁粉探傷検査 (塗膜除去)			
		検査範囲: ビード止端部から20mm			
		溶接仕上げ状況			
		磁粉探傷検査 (亀裂指示模様)			
		①:l=100mm ②:l=30mm ③:l=50、6mm			
		※未切削			
		磁粉探傷検査 (スケッチ)			
		特記事項			
		寸法凡例 —:亀裂延長 —:離隔距離			
		亀裂延長:186mm (100+30+50+6)			
		検査力所の養生			
		※応急対策後(ストップホール)に防錆処理を行う。			
		写真内○数字は、亀裂間隔を示す。			

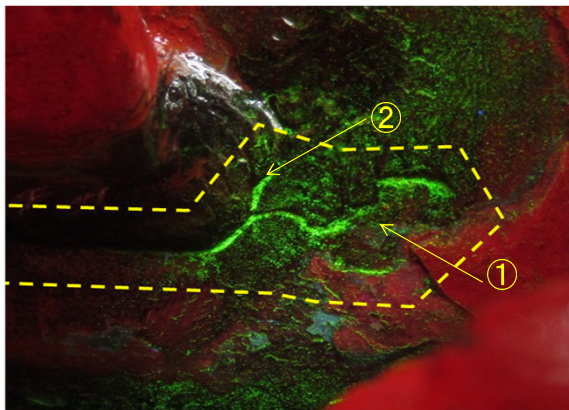
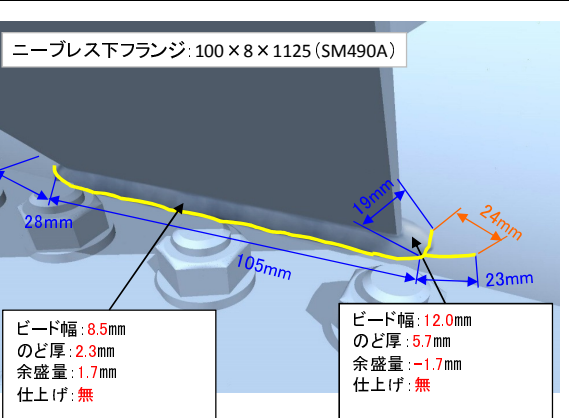
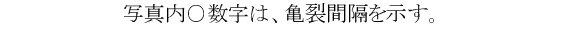
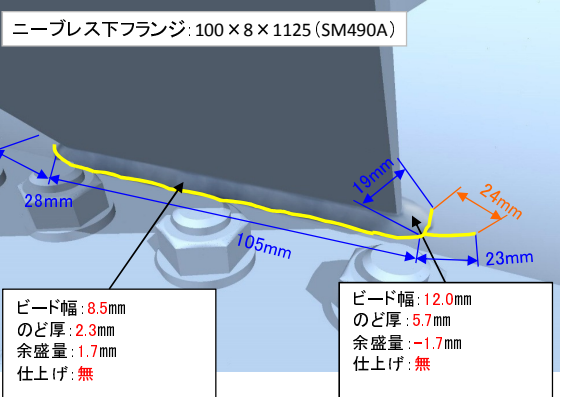
伊達橋 応急対策(ストップホール) VPL24-③			
		亀裂位置情報 □ は、亀裂位置を示す。	
		橋梁全体位置図 検査範囲	
		亀裂位置立体図	
		【凡例】 ストップホール位置: ○	

応急対策状況			
上側	横桁上フランジ上のストップホール(近景) φ16孔	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂状況:6時方向)	
			
	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂なし:12時方向)	磁粉探傷検査状況 (亀裂状況説明図)	
			
下側	横桁上フランジ下のストップホール(近景) φ16孔	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂状況:12時方向)	
			
	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂なし:6時方向)	磁粉探傷検査状況 (亀裂状況説明図)	
			
全景			
			

亀裂調査結果				
橋梁名	伊達橋	VPR	02	点検位置
③				
				
磁粉探傷検査 (塗膜除去) 検査範囲: ビード止端部から20mm				
溶接仕上げ状況				
ビード仕上げ無し				
				
磁粉探傷検査 (亀裂指示模様) ①:l=80mm ②:l=34mm ※未切削				
MT結果 亀裂の有無 あり ○ なし ---				
				
磁粉探傷検査 (スケッチ) 特記事項 寸法凡例 —: 亀裂延長 —: 離隔距離 亀裂延長:114mm (80+34)				
検査力所の養生 ※応急対策後(ストップホール)に防錆処理を行う。				
				
写真内○数字は、亀裂間隔を示す。				

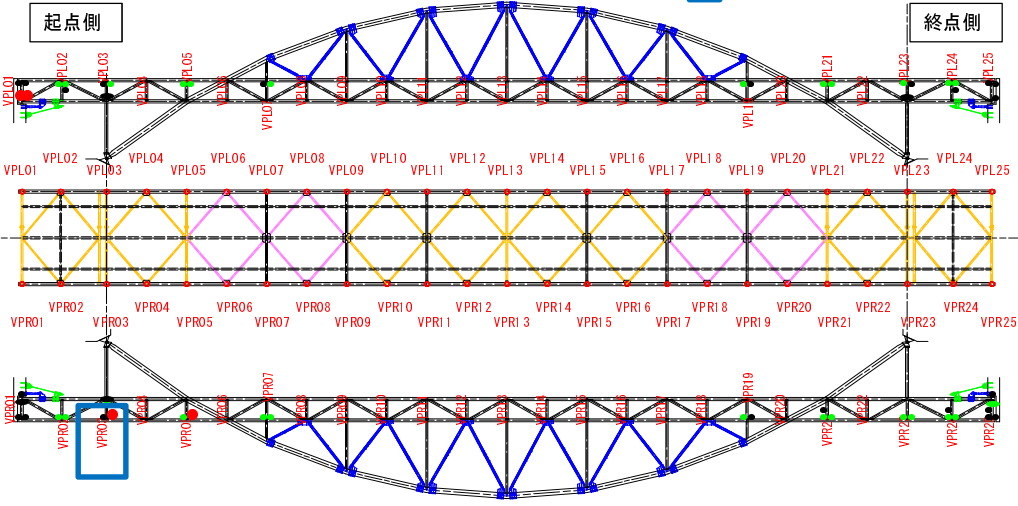
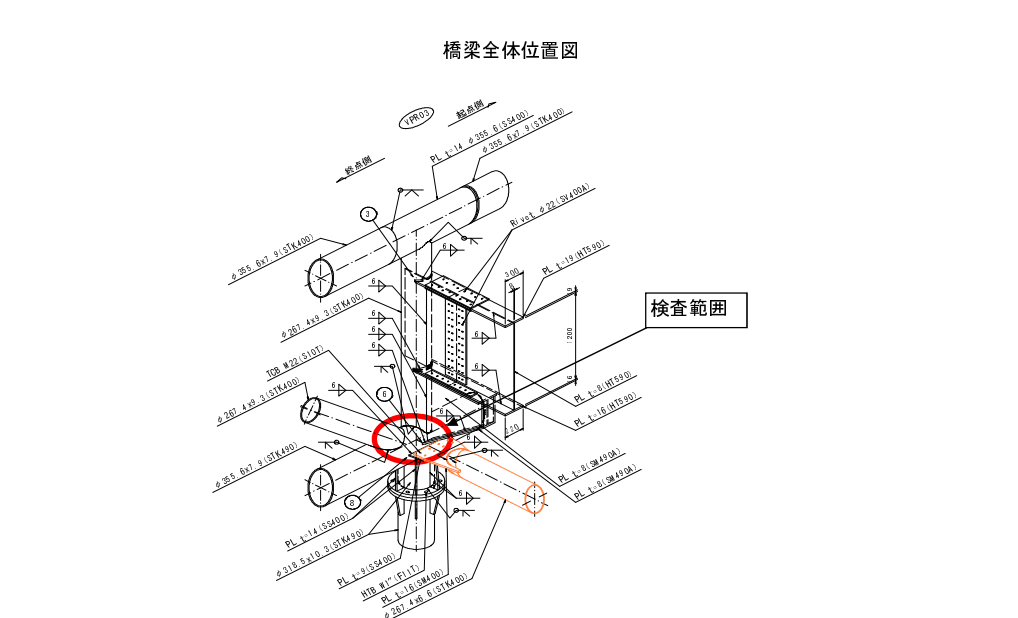
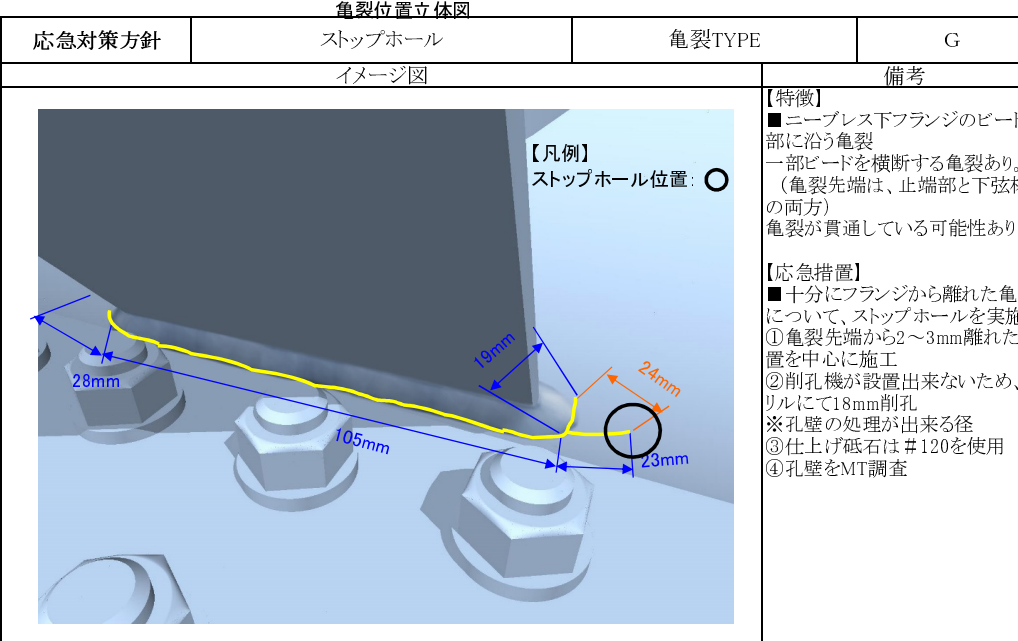
伊達橋 応急対策(ストップホール) VPR02-③			
亀裂位置情報 □ は、亀裂位置を示す。			
			
橋梁全体位置図 			
応急対策方針	ストップホール	亀裂TYPE	E
イメージ図		備考	
		【特徴】 ■上フランジの下面(又は上面)及びコバ面の、垂直材側の止端部に沿う亀裂かつ、垂直母材に進行した亀裂(亀裂先端は、止端部と垂直材の両方) 【応急措置】 ■十分にフランジから離れた亀裂について、ストップホールを実施 ①亀裂先端から2~3mm離れた位置を中心に施工 ②削孔機が設置出来ないため、ドリルにて16mm削孔 ※孔壁の処理出来る径 ③仕上げ砥石は#120を使用 ④孔壁をMT調査	

応急対策状況			
上側	横桁上フランジ上のストップホール(近景) φ16孔	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂状況:6時方向)	
			
	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂なし:12時方向)	磁粉探傷検査状況 (亀裂状況説明図)	
			
下側	横桁上フランジ下のストップホール(近景) φ16孔	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂状況:12時方向)	
			
	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂なし:6時方向)	磁粉探傷検査状況 (亀裂状況説明図)	
			
全景			
			

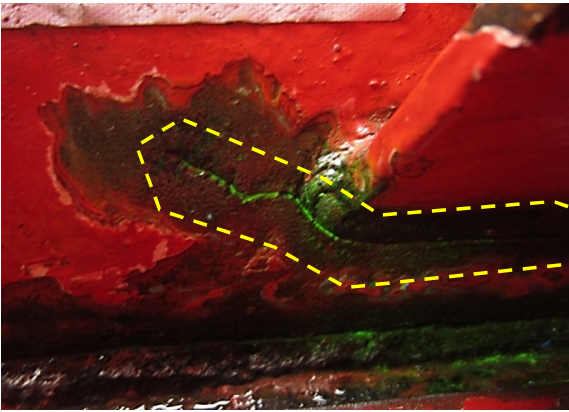
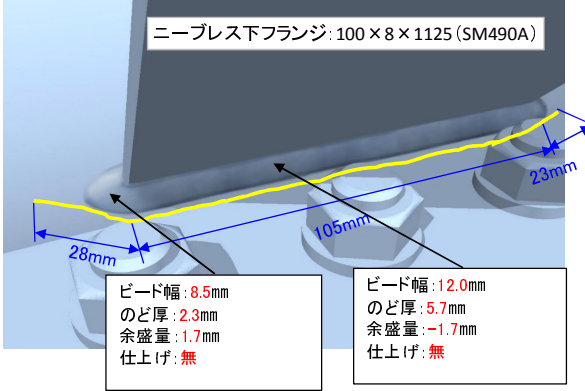
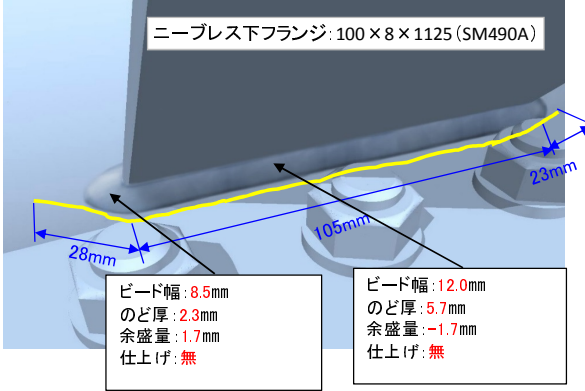
亀裂調査結果					
橋梁名	伊達橋	VPR	03	点検位置	⑤
					磁粉探傷検査 (塗膜除去)
					検査範囲: ビード止端部から20mm
					溶接仕上げ状況
					ビード仕上げ無し
					磁粉探傷検査 (亀裂指示模様)
					①:l=156mm (28+105+23) ②:l=19mm ※未切削
					MT結果
					亀裂の有無 あり ○ なし ---
					磁粉探傷検査 (スケッチ)
					特記事項 寸法凡例 —: 亀裂延長 —: 離隔距離
ニープレス下フランジ: 100×8×1125 (SM490A)					亀裂延長:175mm (156+19)
					
ビード幅: 8.5mm のど厚: 2.3mm 余盛量: 1.7mm 仕上げ: 無					
ビード幅: 12.0mm のど厚: 5.7mm 余盛量: -1.7mm 仕上げ: 無					
検査力所の養生					
※応急対策後(ストップホール)に防錆処理を行う。					

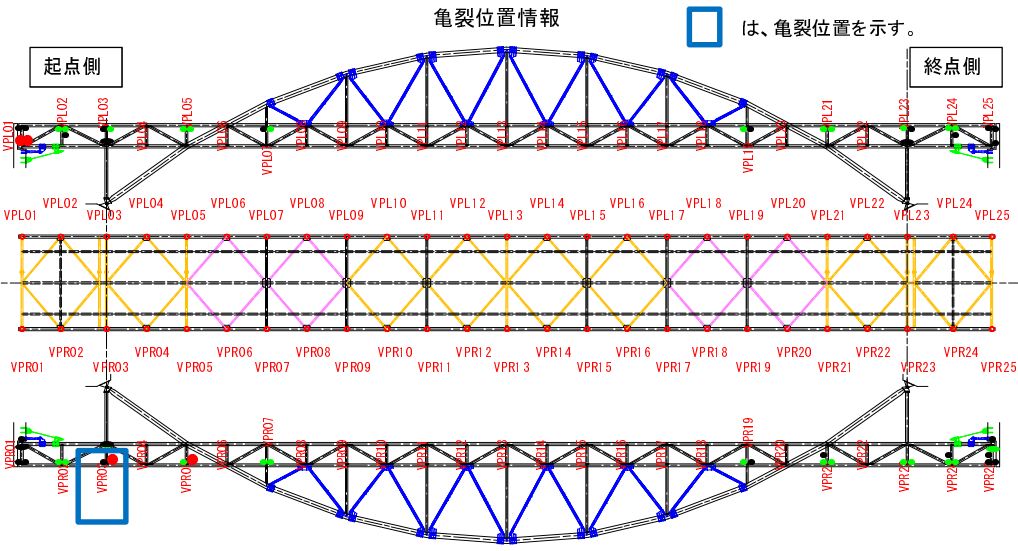
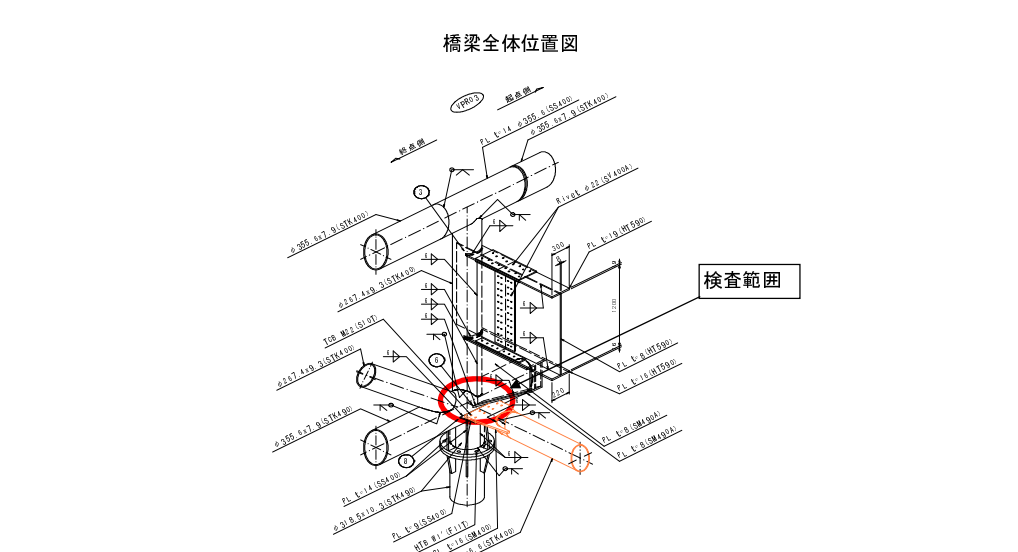
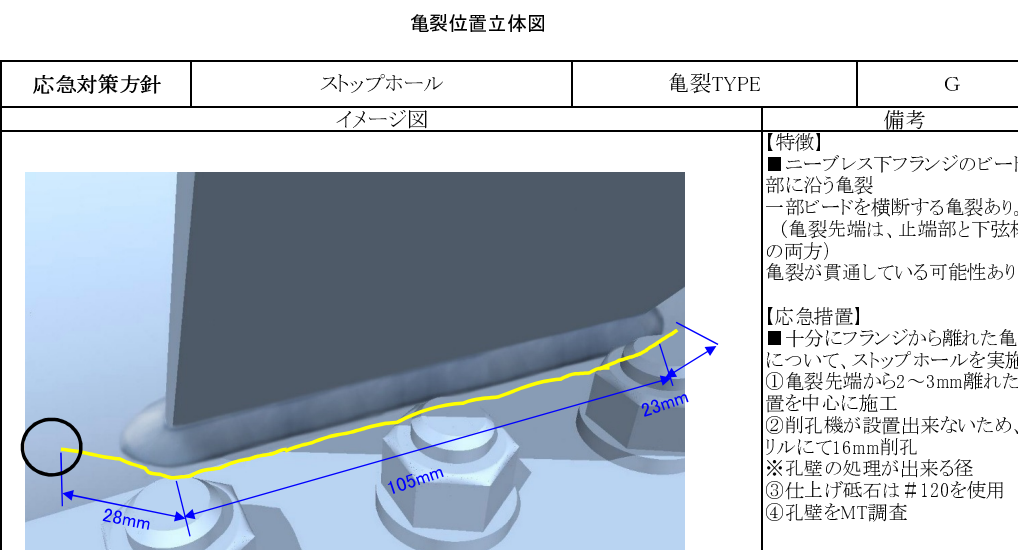
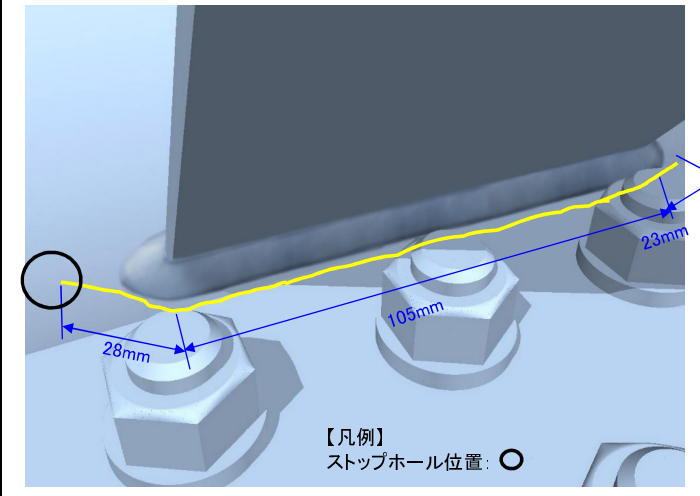
写真内○数字は、亀裂間隔を示す。

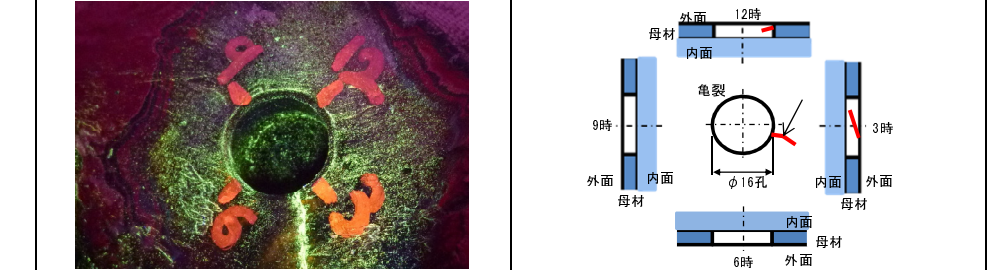
写真内○数字は、亀裂間隔を示す。

伊達橋 応急対策(ストップホール) VPR03-⑤			
亀裂位置情報			
□ は、亀裂位置を示す。			
			
橋梁全体位置図			
			
亀裂位置立体図			
			
【凡例】 ストップホール位置: ○			
【特徴】 ■ニープレス下フランジのビード部に沿う亀裂 一部ビードを横断する亀裂あり。 (亀裂先端は、止端部と下弦材の両方) 亀裂が貫通している可能性あり。			
【応急措置】 ■十分にフランジから離れた亀裂について、ストップホールを実施 ①亀裂先端から2～3mm離れた位置を中心に施工 ②削孔機が設置出来ないため、ドリルにて18mm削孔 ※孔壁の処理出来る径 ③仕上げ砥石は #120を使用 ④孔壁をMT調査			

応急対策状況	
起点側	ニープレスフランジ起点側のストップホール(近景) φ18孔
	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂状況:9時方向)
	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂なし:3時方向)
	磁粉探傷検査状況 (亀裂状況説明図)
全景	
	

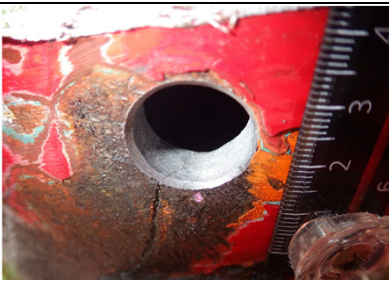
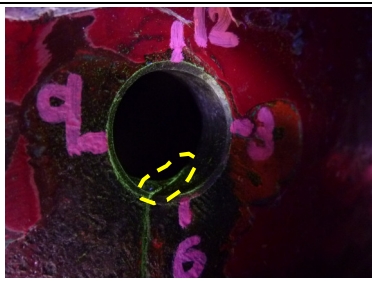
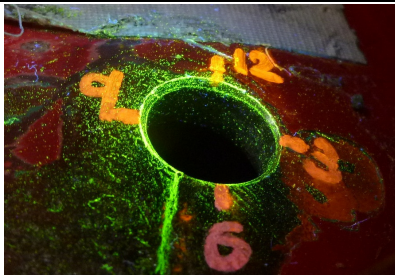
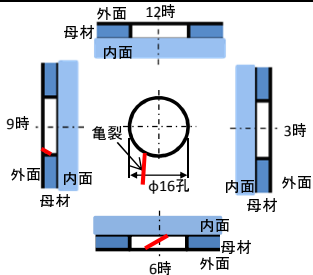
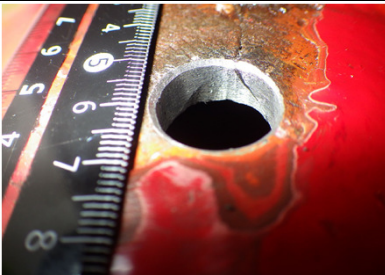
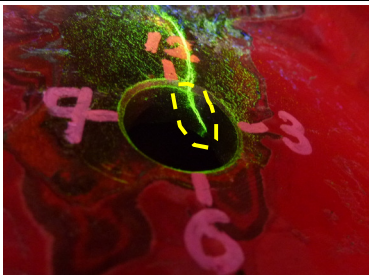
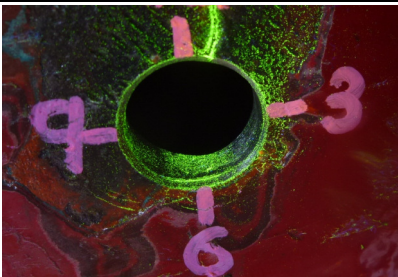
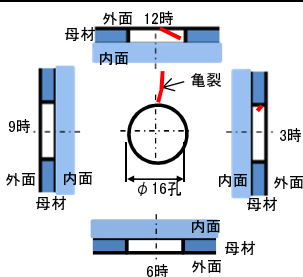
亀裂調査結果				
橋梁名	伊達橋	VPR	03	点検位置
⑥				
	磁粉探傷検査 (塗膜除去)			
	検査範囲: ビード止端部から20mm			
	溶接仕上げ状況			
	ビード仕上げ無し			
	磁粉探傷検査 (亀裂指示模様)			
	①: l=156mm ※未切削			
	MT結果			
	亀裂の有無 あり ○ なし ---			
	磁粉探傷検査 (スケッチ)			
	特記事項			
	亀裂延長:156mm (28+105+23)			
	検査力所の養生			
	※応急対策後(ストップホール)に防錆処理を行う。			

伊達橋 応急対策(ストップホール) VPR03-⑥			
亀裂位置情報			
□ は、亀裂位置を示す。			
			
橋梁全体位置図			
			
亀裂位置立体図			
			
【凡例】 ストップホール位置: ○			
応急対策方針	ストップホール	亀裂TYPE	G
イメージ図		備考	
		【特徴】 ■ニープレス下フランジのビード部に沿う亀裂 一部ビードを横断する亀裂あり。 (亀裂先端は、止端部と下弦材の両方) 亀裂が貫通している可能性あり。 【応急措置】 ■十分にフランジから離れた亀裂について、ストップホールを実施 ①亀裂先端から2～3mm離れた位置を中心に施工 ②削孔機が設置出来ないため、ドリルにて16mm削孔 ※孔壁の処理出来る径 ③仕上げ砥石は#120を使用 ④孔壁をMT調査	

応急対策状況	
終点側	ニープレスフランジ終点側のストップホール(近景) φ16孔
	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂状況:3時方向)
	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂なし:9時方向)
	磁粉探傷検査状況 (亀裂状況説明図)
	
全景	
	

亀裂調査結果				
橋梁名	伊達橋	VPR	05	点検位置
③				
磁粉探傷検査 (塗膜除去)				
検査範囲: ビード止端部から20mm				
溶接仕上げ状況				
ビード仕上げ無し				
磁粉探傷検査 (亀裂指示模様)				
①:l=93mm				
※未切削				
MT結果				
亀裂の有無				
あり				
なし				
磁粉探傷検査 (スケッチ)				
特記事項				
亀裂延長:93mm				
検査力所の養生				
※応急対策後(ストップホール)に防錆処理を行う。				

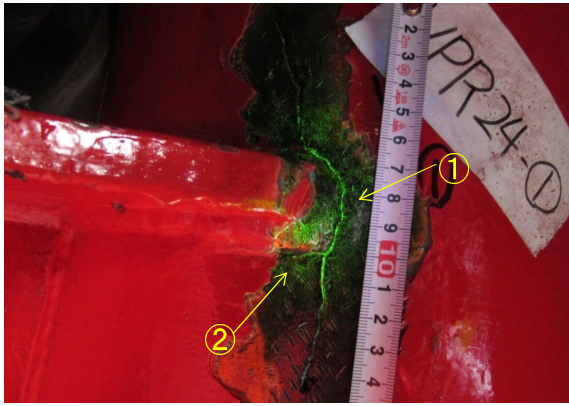
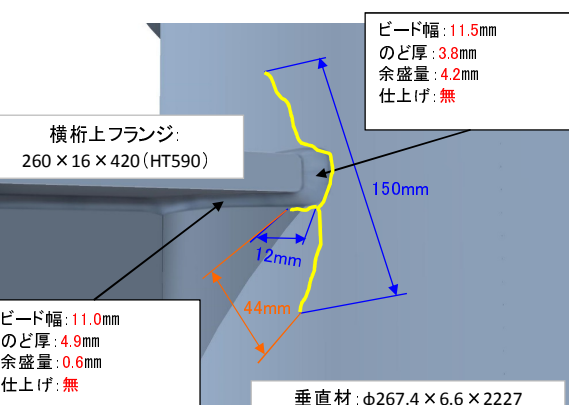
伊達橋 応急対策(ストップホール) VPR05-③			
亀裂位置情報			
□ は、亀裂位置を示す。			
橋梁全体位置図			
亀裂位置立体図			
応急対策方針	ストップホール	亀裂TYPE	D
イメージ図		備考	
		【特徴】 ■ 上フランジコバ面の、垂直材側の止端部から、垂直材母材に進行した亀裂 (亀裂先端は、全て、垂直材) ■ ビード外に進展した亀裂 【応急措置】 ■ 十分にフランジから離れた亀裂について、ストップホールを実施 ① 亀裂先端から2～3mm離れた位置を中心に施工 ② 削孔機が設置出来ないため、ドリルにて16mm削孔 ※孔壁の処理が出来る径 ③ 仕上げ砥石は#120を使用 ④ 孔壁をMT調査	

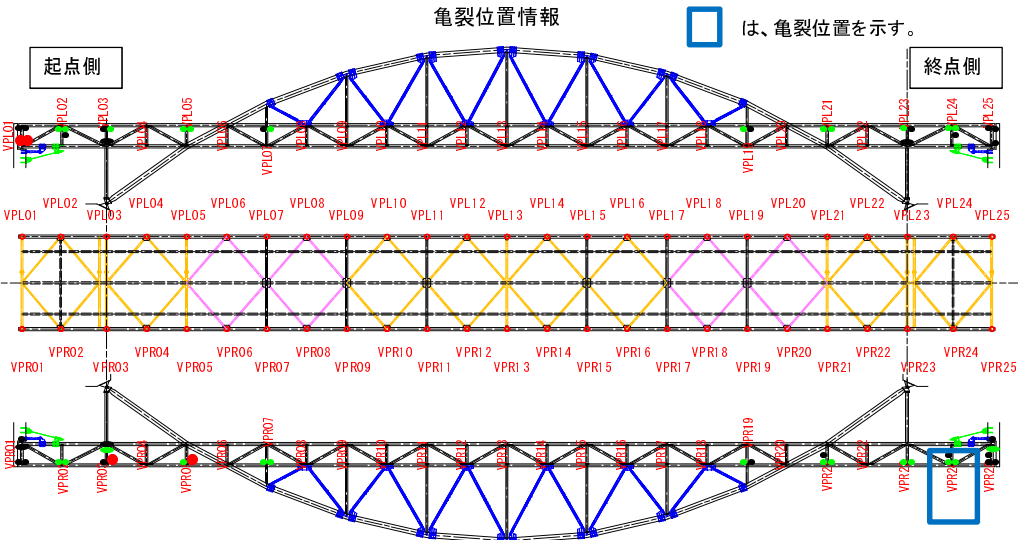
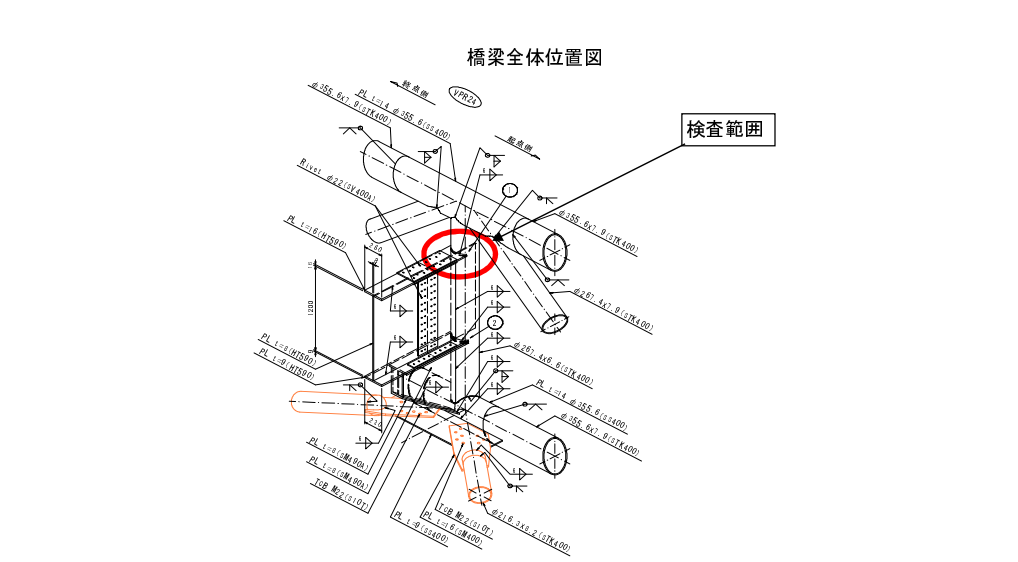
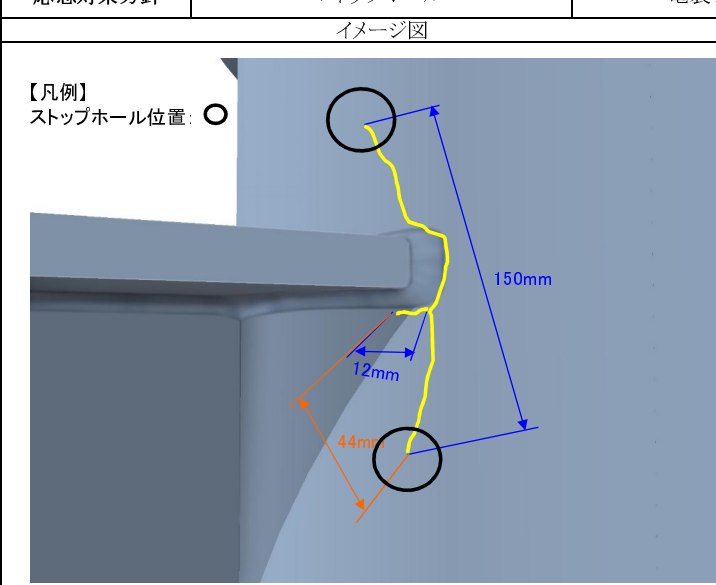
応急対策状況			
上側	横桁上フランジ上のストップホール(近景) φ16孔	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂状況:6時方向)	
			
	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂なし:12時方向)	磁粉探傷検査状況 (亀裂状況説明図)	
			
下側	横桁上フランジ下のストップホール(近景) φ16孔	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂状況:12時方向)	
			
	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂なし:6時方向)	磁粉探傷検査状況 (亀裂状況説明図)	
			
全景			
			

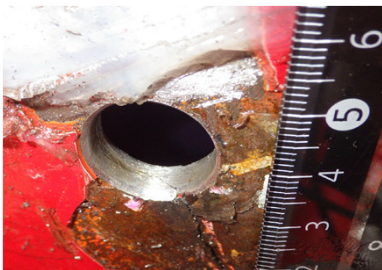
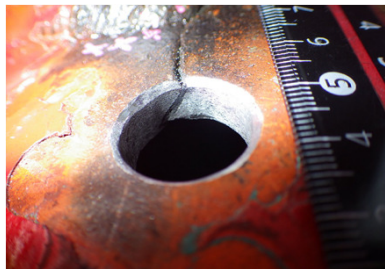
亀裂調査結果				
橋梁名	伊達橋	VPR	21	点検位置
①				
磁粉探傷検査 (塗膜除去)				
検査範囲: ビード止端部から20mm				
溶接仕上げ状況				
ビード仕上げ無し				
磁粉探傷検査 (亀裂指示模様)				
①:l=100mm ②:l=5、5mm ③:l=3mm				
※未切削				
MT結果				
亀裂の有無				
あり ○				
なし ---				
磁粉探傷検査 (スケッチ)				
特記事項				
寸法凡例 —: 亀裂延長 -: 離隔距離				
亀裂延長:113mm (100+5+5+3)				
検査力所の養生				
※応急対策後(ストップホール)に防錆処理を行う。				
写真内○数字は、亀裂間隔を示す。				

伊達橋 応急対策(ストップホール) VPR21-①			
亀裂位置情報 □ は、亀裂位置を示す。			
起点側 終点側			
橋梁全体位置図			
亀裂位置立体図			
検査範囲			
応急対策方針			
ストップホール			
亀裂TYPE			
D			
イメージ図			
備考			
【特徴】 ■ 上フランジコバ面の、垂直材側の止端部から、垂直材母材に進行した亀裂 (亀裂先端は、全て、垂直材) ■ ビード外に進展した亀裂			
【応急措置】 ■ 十分にフランジから離れた亀裂について、ストップホールを実施 ① 亀裂先端から2〜3mm離れた位置を中心に施工 ② 削孔機が設置出来ないため、ドリルにて16mm削孔 ※孔壁の処理が出来る径 ③ 仕上げ砥石は#120を使用 ④ 孔壁をMT調査			

応急対策状況	
上側	
下側	
横桁上フランジ下のストップホール(近景) φ16孔	
磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂状況:12時方向)	
磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂なし:6時方向)	
磁粉探傷検査状況 (亀裂状況説明図)	
全景	

亀裂調査結果					
橋梁名	伊達橋	VPR	24	点検位置	①
					磁粉探傷検査 (塗膜除去) 検査範囲: ビード止端部から20mm
					溶接仕上げ状況
					ビード仕上げ無し
					磁粉探傷検査 (亀裂指示模様) ①:l=150mm ②:l=12mm ※未切削
					MT結果
					亀裂の有無
					あり ○
					なし ---
					磁粉探傷検査 (スケッチ) 特記事項 寸法凡例 —: 亀裂延長 —: 離隔距離
					亀裂延長:162mm (150+12)
					検査力所の養生 ※応急対策後(ストップホール)に防錆処理を行う。
					写真内○数字は、亀裂間隔を示す。

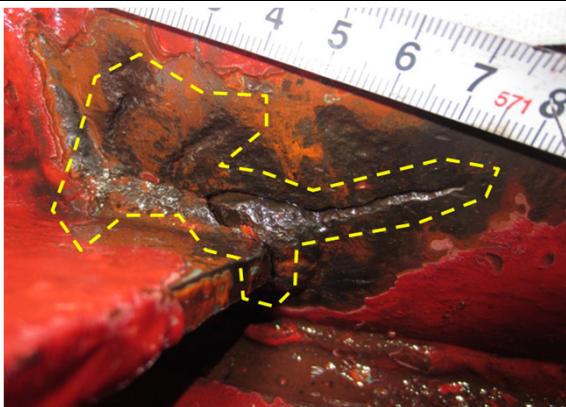
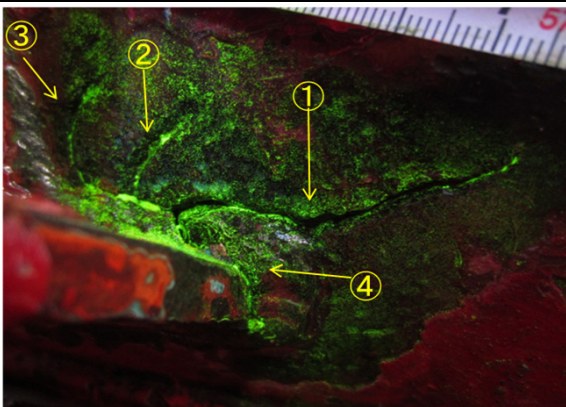
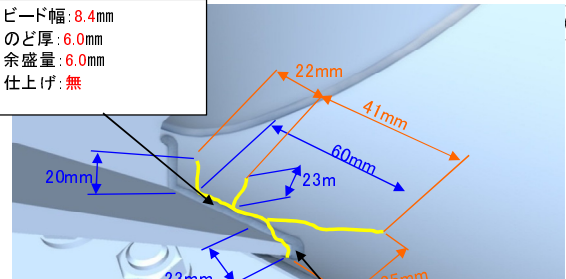
伊達橋 応急対策(ストップホール) VPR24-①			
亀裂位置情報 □ は、亀裂位置を示す。  起点側 終点側			
橋梁全体位置図  検査範囲 亀裂位置立体図			
応急対策方針	ストップホール	亀裂TYPE	D
イメージ図		備考	
【凡例】 ストップホール位置: ○ 		【特徴】 ■ 上フランジコバ面の、垂直材側の止端部から、垂直材母材に進行した亀裂 (亀裂先端は、全て、垂直材) ■ ビード外に進展した亀裂 【応急措置】 ■ 十分にフランジから離れた亀裂について、ストップホールを実施 ① 亀裂先端から2～3mm離れた位置を中心に施工 ② 削孔機が設置出来ないため、ドリルにて16mm削孔 ※孔壁の処理が出来る径 ③ 仕上げ砥石は#120を使用 ④ 孔壁をMT調査	

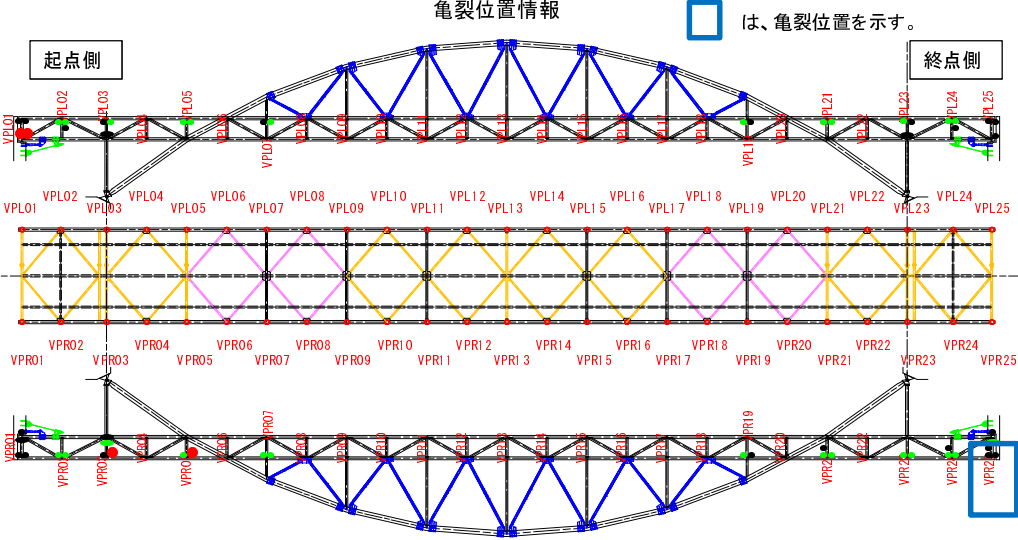
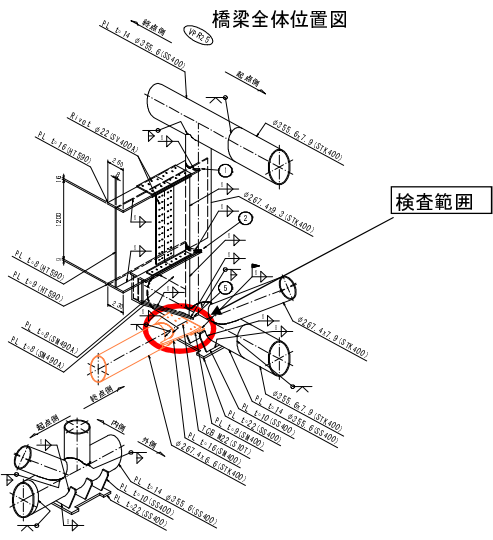
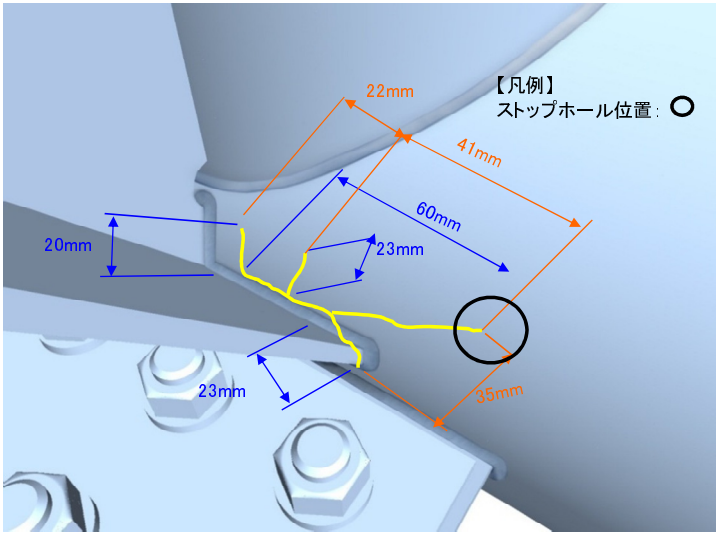
応急対策状況			
上側	横桁上フランジ上のストップホール(近景) φ16孔	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂状況:6時方向)	
		7/3調査予定	
	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂なし:12時方向)	磁粉探傷検査状況 (亀裂状況説明図)	
	7/3調査予定	7/3調査予定	
下側	横桁上フランジ下のストップホール(近景) φ16孔	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂状況:12時方向)	
		7/3調査予定	
	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂なし:6時方向)	磁粉探傷検査状況 (亀裂状況説明図)	
	7/3調査予定	7/3調査予定	
全景			
			

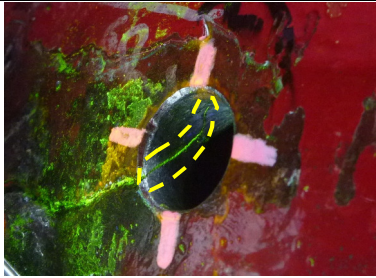
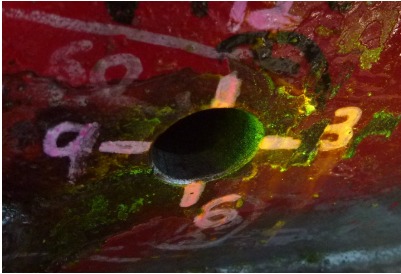
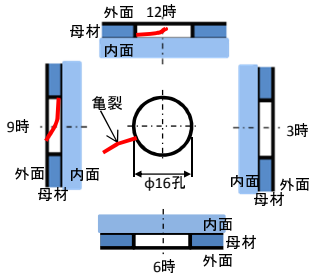
亀裂調査結果				
橋梁名	伊達橋	VPR	24	点検位置
③				
磁粉探傷検査 (塗膜除去)				
検査範囲: ビード止端部から20mm				
溶接仕上げ状況				
ビード仕上げ無し				
磁粉探傷検査 (亀裂指示模様)				
①:l=90mm ②:l=40、6、6mm				
※未切削				
MT結果				
亀裂の有無				
あり ○				
なし ---				
磁粉探傷検査 (スケッチ)				
特記事項				
寸法凡例 —: 亀裂延長 —: 離隔距離				
亀裂延長:142mm (90+40+6+6)				
検査力所の養生				
※応急対策後(ストップホール)に防錆処理を行う。				
写真内○数字は、亀裂間隔を示す。				

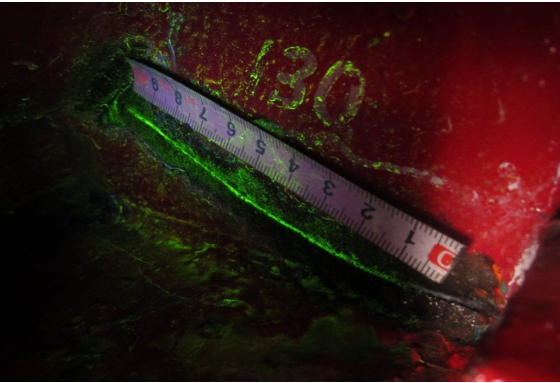
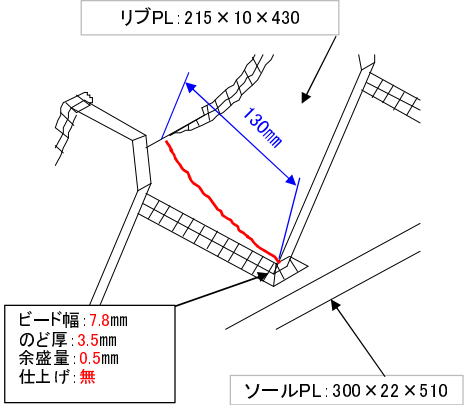
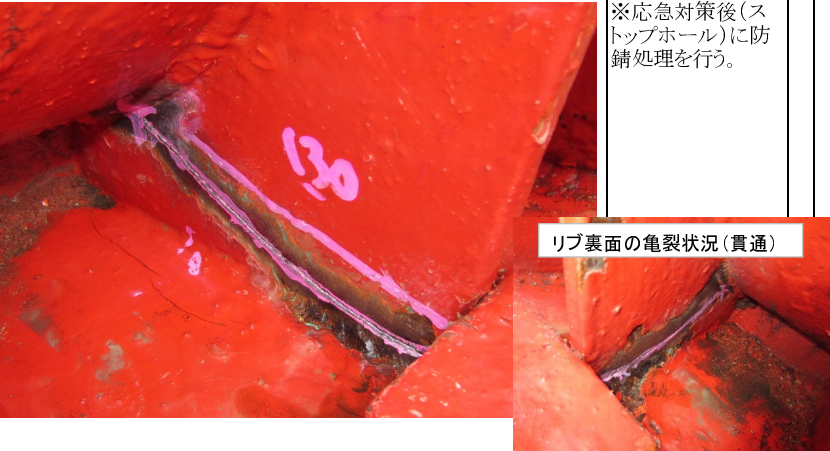
伊達橋 応急対策(ストップホール) VPR24-③			
亀裂位置情報			
□ は、亀裂位置を示す。			
起点側 終点側			
橋梁全体位置図			
検査範囲			
亀裂位置立体図			
応急対策方針	ストップホール	亀裂TYPE	D
イメージ図		備考	
【凡例】 ストップホール位置: ○		【特徴】 ■ 上フランジコバ面の、垂直材側の止端部から、垂直材母材に進行した亀裂 (亀裂先端は、全て、垂直材) ■ ビード外に進展した亀裂	
【応急措置】 ■ 十分にフランジから離れた亀裂について、ストップホールを実施 ① 亀裂先端から2～3mm離れた位置を中心に施工 ② 削孔機が設置出来ないため、ドリルにて16mm削孔 ※孔壁の処理が出来る径 ③ 仕上げ砥石は#120を使用 ④ 孔壁をMT調査			

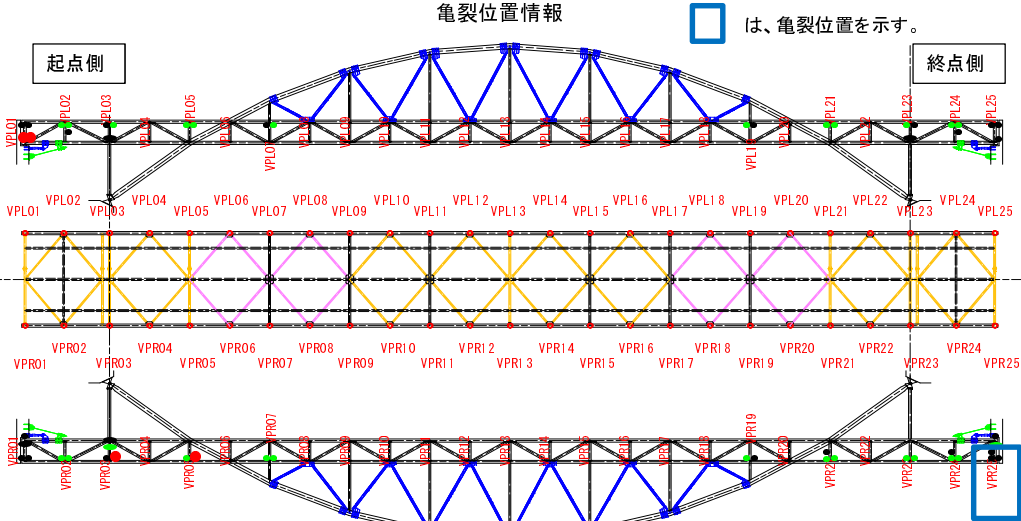
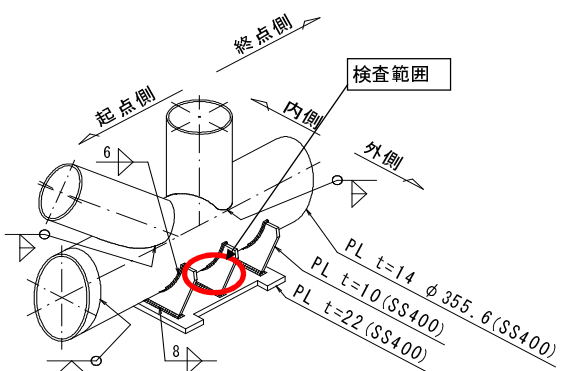
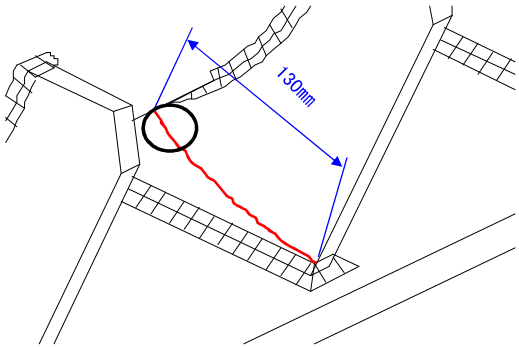
応急対策状況	
上側	横桁上フランジ上のストップホール(近景) φ16孔
	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂状況:6時方向)
	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂なし12時方向)
	磁粉探傷検査状況 (亀裂状況説明図)
下側	横桁上フランジ下のストップホール(近景) φ16孔
	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂なし:6時方向)
	磁粉探傷検査状況 (亀裂状況説明図)
	磁粉探傷検査状況 (亀裂状況説明図)
全景	

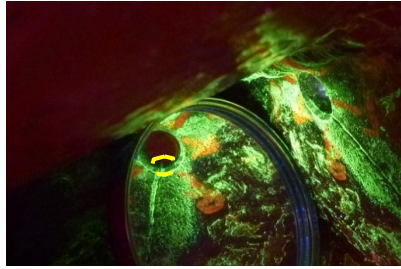
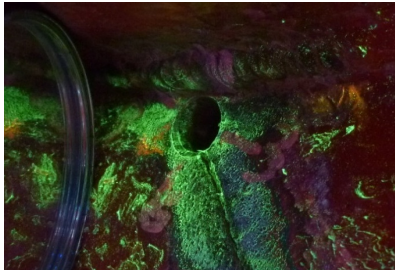
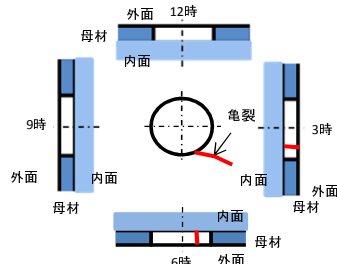
亀裂調査結果					
橋梁名	伊達橋	VPR	25	点検位置	⑤
					磁粉探傷検査 (塗膜除去) 検査範囲: ビード止端部から20mm
					溶接仕上げ状況 ビード仕上げ無し
					磁粉探傷検査 (亀裂指示模様) ①:l=60mm ②:l=23mm ③:l=20mm ④:l=23mm ※未切削 MT結果 亀裂の有無 あり ○ なし ---
 ビード幅:8.4mm のど厚:6.0mm 余盛量:6.0mm 仕上げ:無 ニープレス下フランジ:100×8×1125 ビード幅:10.0mm のど厚:4.2mm 余盛量:1.8mm 仕上げ:無					磁粉探傷検査 (スケッチ) 特記事項 寸法凡例 —:亀裂延長 —:離隔距離
 写真内○数字は、亀裂間隔を示す。					検査力所の養生 ※応急対策後(ストップホール)に防錆処理を行う。

伊達橋 応急対策(ストップホール) VPR25-⑤			
亀裂位置情報 □ は、亀裂位置を示す。			
			
			
亀裂位置立体図			
応急対策方針	ストップホール	亀裂TYPE	G
イメージ図		備考	
		【特徴】 ■ニープレス下フランジのビード部から下弦材に進展した亀裂一部ビードを横断する亀裂あり。亀裂が貫通している可能性あり。 【応急措置】 ■十分にフランジから離れた亀裂について、ストップホールを実施 ①亀裂先端から2～3mm離れた位置を中心に施工 ②削孔機が設置出来ないため、ドリルにて16mm削孔 ※孔壁の処理出来る径 ③仕上げ砥石は＃120を使用 ④孔壁をMT調査	

応急対策状況	
起点側	ニープレスフランジ起点側のストップホール(近景) φ16孔
	
	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂状況:9時方向)
	
	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂なし:3時方向)
	
	磁粉探傷検査状況 (亀裂状況説明図)
	
全景	
	

亀裂調査結果					
橋梁名	伊達橋	支承	Bh0506	点検位置	リブ
		磁粉探傷検査 (塗膜除去)			
		検査範囲: ビード止端部から20mm			
		溶接仕上げ状況			
		ビード仕上げ無し			
		磁粉探傷検査 (亀裂指示模様)			
		l=130mm ※未切削			
		MT結果			
		亀裂の有無			
		あり ○			
		なし ---			
		磁粉探傷検査 (スケッチ)			
		特記事項			
		亀裂延長:130mm			
		検査力所の養生			
		※応急対策後(ストップホール)に防錆処理を行う。			
		リブ裏面の亀裂状況(貫通)			

伊達橋 応急対策(ストップホール) Bh0506			
亀裂位置情報			
			
は、亀裂位置を示す。			
橋梁全体位置図			
			
亀裂位置写真			
			
亀裂位置立体図			
応急対策方針	ストップホール	亀裂TYPE	G
イメージ図			備考
			【特徴】 ■ ソールプレートのリブ側止端部から下弦材リブ側の止端部に至るリブ母材の亀裂 【応急措置】 ■ 十分にフランジから離れた亀裂について、ストップホールを実施 ① 亀裂先端から2～3mm離れた位置を中心に施工 ② 削孔機が設置出来ないため、ドリルにて10mm削孔 ③ 仕上げ砥石は#120を使用 ④ 孔壁をMT調査
			【凡例】 ストップホール位置: ○

応急対策状況		
上側	リブのストップホール(近景) φ10孔	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂状況:3時方向)
		
	磁粉探傷検査状況 (孔壁の亀裂なし:9時方向)	磁粉探傷検査状況 (亀裂状況説明図)
		
下側		
全景		
		